

液晶プロジェクター

形名 पी जी ई इक्स
 PG-A10X
 पी जी ई एस
 PG-A10S

取扱説明書



このたびはシャープ液晶プロジェクターをお買いあげいただき、まことにありがとうございました。

正しくお使いいただくために、この取扱説明書をよくお読みください。
ご使用前に、「安全に正しくお使いいただくために」を必ずお読みください。……3ページ

- 保証書は、必ず購入店名・購入日などの記入を確かめてお受け取りください。
- 製造番号は品質管理上重要なものですから、商品本体に表示されている製造番号と保証書に記載されている製造番号とが一致しているか、お確かめください。
- なお、この取扱説明書は、保証書とともに必ず保存してください。万一、使用中にわからないことや具合の悪いことがおきたとき、きっとお役に立ちます。



はじめに

	ページ
もくじ	2
安全に正しくお使いいただくために	3
使用上のご注意	7
各部のなまえ	9
本体	9
リモコン	11
リモコンの使いかた	12
リモコンの使用範囲	12
乾電池の入れかた	12
付属品を確認する	13

接続と設置のしかた

接続のしかた	14
接続する前に	14
接続例	14
電源コードの接続	14
コンピュータを接続する	15
ビデオ機器を接続する	17
プロジェクターをコンピュータで制御する	19
設置のしかた	20
アジャスターの使いかた	20
レンズ調整	21
スクリーンを設置する	22
画面サイズと投射距離	23
反転映像を投射するとき	24

基本操作

投射のしかた	25
電源を入れてから切るまで	25
画面表示言語を選ぶ	28
画面の台形歪みを補正する(キーストーン補正)	29
メニュー表示内容一覧	30
メニューの使いかた	32
メニューの選択(調整)	32
メニューの選択(設定)	34
映像を調整する	36
見やすい映像に調整する	36
色温度(色温度を設定する)	36
ガンマ(ガンマ補正をする)	37
sRGB(sRGBを設定する)	37
入力信号タイプ(入力信号タイプを設定する)	37
メモリー(画面調整の内容を登録する)	37
コンピュータの画面を調整する	38
見やすい画面に調整する(同期調整)	38
特殊モード(特殊モードを設定する)	38
入力信号確認(入力信号情報を表示する)	39

便利な機能を使う

	ページ
画像表示モードを選ぶ	40
入力信号の種類によって、画像の表示を切り換える	40
静止画・デジタル拡大機能	42
映像を静止状態にする	42
映像の一部を拡大表示する	42
プロジェクターの操作ボタンをロックする	43
キーロックの設定	43
キーロックの解除	43
「オプション」メニュー画面を使った設定	44
ランプ時間(残率)(ランプの使用時間を確認する)	44
OSD表示(画面表示を設定する)	44
映像信号方式(映像信号方式を設定する)	45
無信号時画面(無信号時およびオープニングの画面を設定する)	45
エコモード(エコモードを設定する)	45
無信号時自動電源オフ(無信号時自動電源オフ機能)	46
メニュー位置(メニューの位置を設定する)	46
メニュー色(メニューの色を設定する)	46
パスワード(4桁の数字でパスワードを設定する)	47
パスワードを忘れてしまったら	47
システムロック(本体またはリモコンの操作ボタンで キーコードを入力し、システムロックを設定する)	48
映像の左右反転／上下反転のしかた	50
投射方式を設定する	50

付録

プロジェクターを持ち運ぶ	51
キャリングバッグの使いかた	51
お手入れのしかた	52
エアフィルタのお手入れ	53
底部のエアフィルタの掃除または交換	53
お知らせ表示について	55
ランプについて	57
ランプについて	57
ランプ使用上のご注意	57
ランプを交換する	57
ランプ交換ユニットの取り外しと取り付け	58
ランプ使用時間をリセットする	59
本体のコネクターのピン配置	60
RS-232C仕様とコマンドの設定	61
RGB入力信号(推奨信号)について	62
故障かな?と思ったら	63
アフターサービスについて	65
お客様ご相談窓口のご案内	66
仕様	67
寸法図	68
用語集	70
索引	71

この取扱説明書および商品には、安全にお使いいただくためにいろいろな表示をしています。その表示を無視して誤った取り扱いをすることによって生じる内容を、次のように区分しています。内容をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。



警告

人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。



注意

人がけがをしたり財産に損害を受けるおそれがある内容を示しています。

図記号の意味



記号は、気をつける必要があることを表しています。



記号は、してはいけないことを表しています。



記号は、しなければならないことを表しています。

警告

煙が出ている、変なにおいや音がするなど
異常状態のときは電源プラグを抜く



● 異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに機器本体の電源スイッチを切り、その後必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対おやめください。



● 画面が映らない、音が出ないなどの故障状態で使用しないでください。火災・感電の原因となります。すぐに機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグを抜いて修理を販売店にご依頼ください。

キャビネットは絶対にあけない



● この機器のキャビネットは外さないでください。内部には電圧の高い部分がありますので感電の原因となります。内部の点検・調整・修理は販売店にご依頼ください。

高圧注意

● サービスマン以外のかたはキャビネットをあけないでください。内部には高電圧部分が数多くあります。万一、さわると危険です。



● この機器を改造しないでください。火災・感電の原因となります。

安全に正しくお使いいただくために(つづき)

警告

表示された電源電圧で使用する



- 表示された電源電圧(交流100～240ボルト)以外で使用すると、火災・感電の原因となります。

プロジェクターを落としたときは



- この機器を落としたり、キャビネットを破損した場合は、機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災、感電の原因となります。

レンズをのぞかない



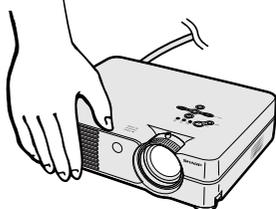
- 投映中にレンズをのぞかないでください。眼を傷める原因となります。特に、小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。



高温部には触れない



- 投映中は、排気孔、ランプユニットカバーやその周辺は高温になります。表面が十分冷えるまで触れないでください。



不安定な場所に置かない



- ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり倒れたりしてケガの原因となります。

天井へ取り付けるときは



- この機器を天井へ設置する場合は、必ず販売店へご依頼ください。取り付けが不確実ですと、落下などにより感電・ケガの原因となります。

内部にもものや水などを入れない



- この機器の開口部(通風孔など)から金属類や燃えやすいものなど異物を差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。



- 異物や水がこの機器の内部に入った場合は、まず本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

上には水の入ったものや小さな金属物を絶対に置かない



- こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。



- 水を入れたり、ぬらしたりしないでください。火災・感電の原因となります。雨天、降雪中、海岸、水辺での使用は特にご注意ください。

雷が鳴り出したら電源プラグには触れない



- 感電の原因となります。

⚠ 警告

電源プラグの刃および刃の付近にほこりや金属物が付着した状態では使用しない

風呂、シャワー室では使用しない



- ほこりや金属物が付着している場合は、電源プラグを抜いてから乾いた布で取り除いてください。そのままご使用すると、火災・感電の原因となります。



- 火災・感電の原因となります。

電源コードを破損するようなことはしない



- 電源コードの上に重いものをのせたり、コードが本体の下敷にならないようにしてください。コードに傷がついて、火災・感電の原因となります。コードを敷物などで覆ってしまうと、気付かずに、重いものをのせてしまうことがあります。



- 電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。コードが破損して、火災・感電の原因となります。



- 電源コードが傷んだら（芯線の露出、断線など）販売店に交換をご依頼ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

⚠ 注意

油煙、湯気、湿気、ほこりなどが多い場所に置かない

重いものを置かない



- 湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。
- 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるような場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。



- この機器の上に重いものを置かないでください。



- バランスがくずれて倒れたり、落下してケガの原因となることがあります。
- この機器に乗らないでください。特に、小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。倒れたり、こわれたりしてケガの原因となることがあります。

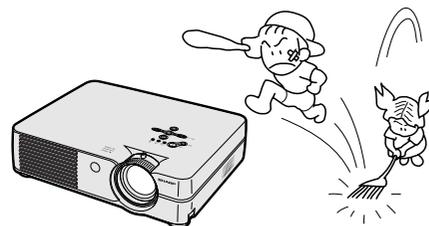
通風孔をふさがない



- この機器の通風孔をふさがないでください。内部に熱がこもり、火災や故障の原因となることがあります。冷却ファン部〔排気側〕は、壁などから20cm以上はなして設置してください。



- 次のような使い方はしないでください。この機器を横倒しや、レンズを下にむけて逆さまにする。押し入れ、本箱など風通しの悪い狭い所に押し込む。じゅうたんや布団の上に置く。テーブルクロスなどを掛ける。



置台に据えつけるときは



- キャスター付き置台にこの機器を設置する場合にはキャスター止めをしてください。動いたり、倒れたりして、ケガの原因となることがあります。

安全に正しくお使いいただくために(つづき)

⚠ 注意

<p>移動させるときは必ず接続線をはずす</p>  <ul style="list-style-type: none"> ● 移動させる場合は、機器本体の電源スイッチを切り必ず電源プラグをコンセントから抜き、機器間の接続線等外部の接続線を外したことを確認の上、行ってください。コードが傷つき火災・感電の原因となることがあります。 	<p>電源コードを熱器具に近づけない</p>  <ul style="list-style-type: none"> ● コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。
<p>電源プラグを抜くときは電源コードを引っ張らない</p>  <ul style="list-style-type: none"> ● 電源プラグを抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。電源コードを引っ張るとコードが傷つき火災・感電の原因となることがあります。 	<p>旅行などで長時間ご使用にならないときは電源プラグを抜く</p>  <ul style="list-style-type: none"> ● 安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。火災の原因となることがあります。
<p>ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない</p>  <ul style="list-style-type: none"> ● ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。 	<p>お手入れのときは電源プラグを抜く</p>  <ul style="list-style-type: none"> ● 安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。感電の原因となることがあります。
<p>電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込む</p>   <ul style="list-style-type: none"> ● 差し込みが不完全ですと発熱したり、ほこりが付着して、火災の原因となることがあります。また、電源プラグの刃に触れると感電することがあります。 ● 電源プラグは、根元まで差し込んでもゆりみがあるコンセントに接続しないでください。発熱して火災の原因となることがあります。販売店や電気工事店にコンセントの交換を依頼してください。 	<p>3年に一度は機器内部の清掃を販売店に依頼する</p>  <ul style="list-style-type: none"> ● 内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。なお、内部掃除費用については販売店などにご相談ください。
<p>指定以外の電池や新しい電池と古い電池を混ぜて使用しない</p>  <ul style="list-style-type: none"> ● 機器で指定されていない電池は使用しないでください。また新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。電池の破れつ、液もれにより、火災・ケガや周囲を汚損する原因となることがあります。 	<p>電池を入れるときは極性表示(プラス⊕とマイナス⊖の向き)に注意する</p>  <ul style="list-style-type: none"> ● 電池を機器内に挿入する場合極性表示(プラス⊕とマイナス⊖の向き)に注意し機器の表示どおり正しく入れてください。間違えますと電池の破れつ、液もれにより、火災、ケガや周囲を汚損する原因となることがあります。

設置するときは次の点にご注意ください

ホコリ、湿気の少ないところへ

- 湿気やほこりの多い場所、油煙やタバコの煙の当たるような場所に置くと、レンズ・ミラー等の光学部品に汚れが付着し、映像がぼやけたり、暗く見にくくなります。

直射日光や、照明の光はさけてください

- スクリーンに直接光があたると画面が白っぽくなり見にくくなります。明るい光が入る部屋ではカーテンを引くようにしてください。(できるだけ、暗い環境でお使いいただくことをおすすめします。)

プロジェクターは12°以上傾けないようにしてください

- 設置範囲は±12°までです。



衝撃を与えないでください

- レンズには、特にご注意ください表面を打ったり傷をつけたりしないようご注意ください。



目をときどき休めてください

- 連続して長い時間画面を見てると、目を疲れさせます。ときどき目を休めてください。

高温、低温の場所はさけてください

- 使用温度範囲 5℃～35℃
- 保存温度範囲 -20℃～60℃

排気孔や吸気孔をふさがないように

- 排気孔側に壁やモノがある場合は、20cm以上スキ間をあけて設置してください。
- 排気孔や吸気孔をふさがないように設置してください。
- 冷却ファンがふさがれると、保護回路が働き自動的に電源が切れます。これは故障ではありません。プロジェクターの電源コードをコンセントから抜き、10分以上そのままにしてください。その後排気孔や吸気孔をふさがらない位置でもう一度電源コードをつなぎ電源を入れます。プロジェクターは正常な状態に戻ります。

持ち運びのご注意

- 持ち運ぶときは、衝撃を与えないようにしてください。故障の原因となります。レンズには特にご注意ください。また、移動させる場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜き、外部の接続線ははずしたことを確認の上行ってください。

接続機器について

- プロジェクターにコンピュータやAV機器を接続するときは、プロジェクターおよび接続する各機器の電源を必ず切ってから接続してください。
- 接続のしかたは、プロジェクターおよび接続する各機器の取扱説明書をご覧ください。

・この製品は、クラスA情報技術装置です。住宅環境で使用する場合は、電波障害を発生させる恐れがあります。その際、この製品の利用者は適切な手段を講ずることが必要とされることがあります。

使用上のご注意(つづき)



温度

温度モニター機能

■ 設置状況や通風孔の目づまり等によりプロジェクター内部の温度が高温になると、「温度」マークが画面の左下で点灯します。さらに温度が上昇し続けると、光源(ランプ)が消灯し、プロジェクターの温度モニターお知らせ表示(ランプ)が点滅し、90秒間冷却した後、電源が切れます。詳細については55ページの「お知らせ表示について」をご覧ください。

お知らせ

- 冷却ファンは内部温度を一定にしますが、その機能は自動制御されています。冷却ファンの音がプロジェクターの操作中に変化することがありますが、ファンの速さを変えているため、故障ではありません。
- 放映中および冷却ファンの動作中に電源プラグを抜かないでください。冷却ファンも同時に止まるため、温度上昇により故障の原因となります。

海外でご使用になるときは

■ お使いになる国や地域によって、電源電圧やプラグの形状が異なります。海外でご使用になるときは、その国に合った電源コード(別売品)をご使用ください。

ランプ交換に関する注意

■ 「ランプについて」(57ページ)もご覧ください。

廃棄の方法について

このプロジェクターに使用している高輝度放電ランプ(HIDランプ)は、微量な水銀を含有しています。これらの含有物は、環境考慮の観点から法的に規制されている場合があります。廃棄やリサイクルについては、関連法規およびお住まいの地域の条例などに従って処理してください。

ランプ交換ユニットに関する注意

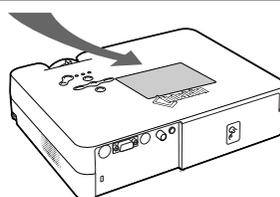
■ ランプが破裂するとガラス破片でけがをするおそれがあります。ランプが破裂した場合には、お近くの販売店にご連絡ください。

- Microsoft、Windowsは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国々における登録商標です。
- PC/ATは米国IBM社の登録商標です。
- Macintoshはアップルコンピュータ・インクの米国および、その他の国における登録商標です。
- Adobe AcrobatはAdobe Systems Incorporatedの商標です。
- その他の製品名等の固有名詞は各社の商標または登録商標です。

クイックガイドラベル

■ 同梱されているクイックガイドラベルは本体に貼りつけてください。ただし、ラベルの特性上、右図で表示されている場所(Notevisionロゴの真上)以外へは貼らないでください。

クイックガイドラベル



各部のなまえ

■の中の数字は参照ページを示します。

本体

電源表示

待機状態では赤色で点灯します。電源を入れると緑色で点灯します。

25

POWER(電源入/切)ボタン

ON : 電源を入れます。
OFF : 電源を切ります。

25

KEystone(キーストーン補正)ボタン

投射角度により生じる台形歪みを補正します。

29

AUTO SYNC(自動同期調整)ボタン

コンピュータ接続時の同期を自動で調整します。

38

55 ランプ交換お知らせ表示

通常は緑色で点灯します。赤色で点灯したときはランプ交換が必要です。

55 温度モニターお知らせ表示

内部温度が高温になると赤色で点灯します。

26 INPUT(入力切替)ボタン

入力モード(入力1、2、3)を切り換えます。

26 VOLUME(音量)ボタン

スピーカーからの音量とキーストーン補正を調整します。

12 リモコン受信部

12

52 排気孔

52

20 アジャスターリリースボタン

20

20 アジャスター

20

レンズキャップの取り付け
レンズキャップの2つのボタンを押してレンズに当てます。ボタンを離して取り付けます。

レンズキャップの取り外し
レンズキャップの2つのボタンを押して、レンズから外します。

21 ズームレバー

21 フォーカスリング

スピーカー

20 アジャスターリリースボタン

20 アジャスター

53 エアフィルター/冷却ファン(プロジェクターの底部に吸気孔)

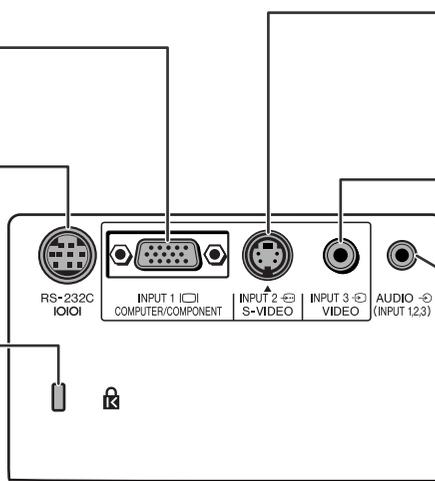
各部のなまえ (つづき)

■の中の数字は参照ページを示します。

15 INPUT (入力) 1端子
コンピュータRGBとコンポーネント (色差) 信号用の端子です。

19 RS-232C端子
コンピュータを使ってプロジェクターを制御します。

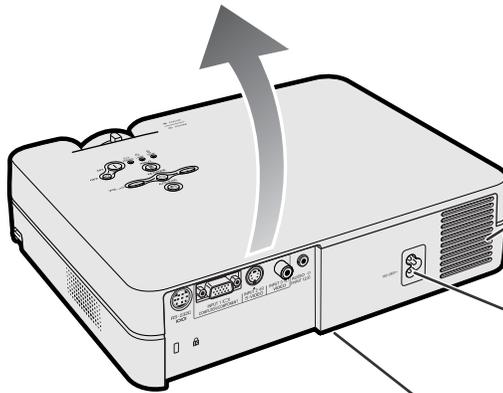
盗難防止用コネクタ (Kensington Security Standard connector)



17 INPUT (入力) 2端子
S映像端子付きビデオ機器などと接続するS-VIDEO入力端子です。

17 INPUT (入力) 3端子
ビデオ機器などと接続するときに使用する映像入力端子です。

15 AUDIO INPUT (音声入力) 端子
INPUT (入力) 1、2と3で共有の音声入力用の端子 (φ3.5ミニジャック端子) です。



52 吸気孔

14 AC電源ソケット
付属の電源コードを接続します。

20 後部アジャスター (プロジェクターの底部)

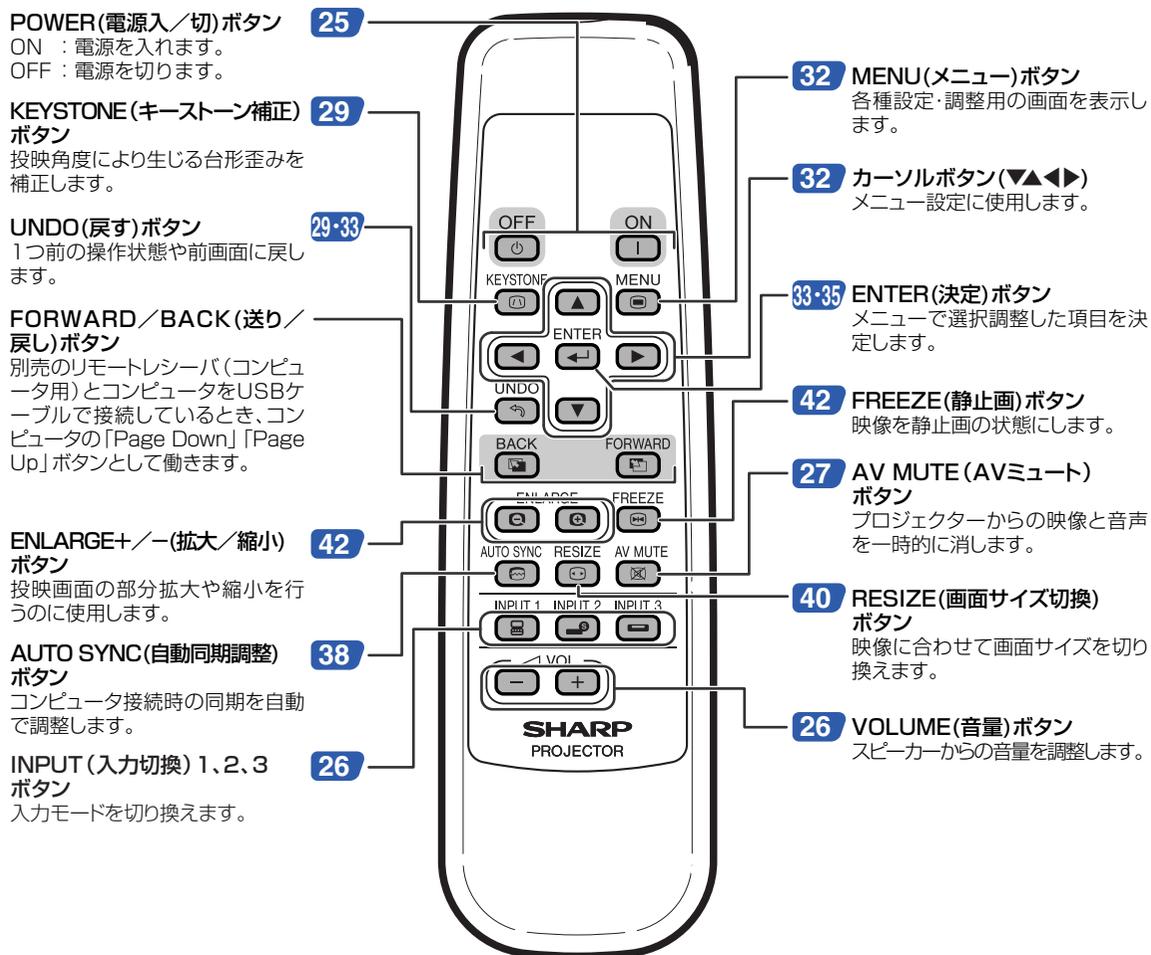
盗難防止用コネクタについて

- 市販の盗難防止用ケーブル (Kensington社製) などを接続することができます。



■盗難防止用コネクタは、Kensington社製のマイクロサーバーセキュリティシステムに対応しています。日本国内総販売代理店の連絡先は、以下のとおりです。
日本ポラロイド株式会社 電子映像グループ
〒105-8456 東京都港区虎ノ門3丁目2番2号 第30森ビル
TEL 03-3438-8879 FAX 03-5473-1630

リモコン



リモコンの使いかた

リモコンの使用範囲

■リモコンの使用範囲は図のとおりです。

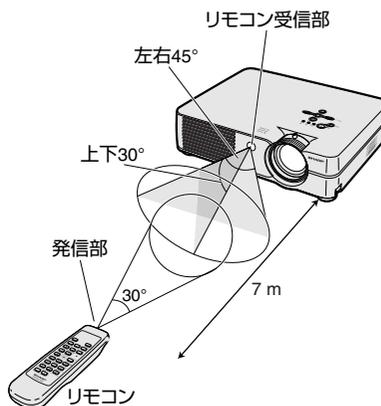


メモ

- ・リモコンをスクリーンに反射させて、リモコン信号を受信することもできますが、信号が届く距離はスクリーンの材質によって異なります。

リモコン使用上のご注意

- ・衝撃を与えたり、水にぬらしたり、温度の高いところには置かないでください。
- ・蛍光灯の下では、リモコンの動きが悪くなる場合があります。そのようなときは、本体を蛍光灯から離してご使用ください。

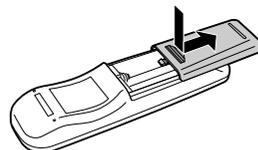


乾電池の入れかた

乾電池はこの取扱説明書といっしょに入っています。

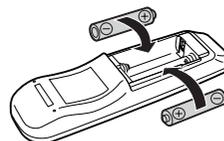
(単3形2本)

1 カバーを矢印の方向にスライドさせ、開ける

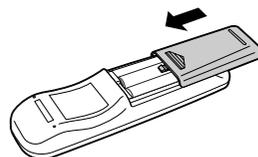


2 付属の乾電池を入れる

- ・プラス⊕とマイナス⊖を、表示のとおり正しく入れてください。



3 カバーを矢印の方向にスライドさせ、閉める



乾電池は誤った使いかたをしますと液もれや破裂することがありますので、次の点について特にご注意ください。

⚠ 注意

- 乾電池のプラス⊕とマイナス⊖を、表示のとおり正しく入れてください。
- 乾電池は種類によって特性が異なりますので、種類の違う乾電池は混ぜて使用しないでください。
- 新しい乾電池と古い乾電池を混ぜて使用しないでください。
新しい乾電池の寿命を短くしたり、また、古い乾電池から液がもれる恐れがあります。
- 乾電池が使えなくなったら、液がもれて故障の原因となる恐れもありますのですぐ取り出してください。
また、もれた液に触れると肌が荒れることがありますので、布でふき取るなど十分注意してください。
- 付属の乾電池は、保管状態により短期間で消耗することがありますので、早めに新しい乾電池と交換してください。
- 長時間使用しないときは、乾電池をリモコンから取り出して整理しておいてください。

付属品を確認する

付属品



リモコン



単3形乾電池 (2本)



電源コード (1.8m)



RGBケーブル (3m)



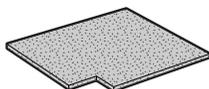
DIN-D-sub RS-232C
アダプター (15cm)



キャリングバッグ



レンズキャップ
(装着出荷)



交換用エアフィルター

取扱説明書 (本書)
クイックガイドラベル
保証書

別売品のご案内

- 3RCA/15ピンミニD-sub変換ケーブル (3m) AN-C3CP
- コンピュータRGBケーブル (10m) AN-C10BM <15ピンミニD-subコネクター (オス)
(IBM-PC系・NEC PC-9821系・PC-98NX系)>
AN-C10MC <15ピンミニD-subコネクター (オス) (Macintosh用)>
AN-C10PC <15ピンミニD-subコネクター (オス)
(NEC PC-98系用 (NEC PC-9821系・PC-98NX系除く))>
- 5BNC/15ピンミニD-subケーブル (3m) AN-C3BN
- RS-232Cケーブル (10m) AN-C10RS (クロス・メス・メスタイプ)
- ・コンピュータ側の接続端子の変更等により、そのままでは接続できない場合がありますので、コンピュータの仕様をご確認ください。変換コネクター (市販品) が必要な場合があります。
- リモートレシーバ AN-MR1EL

接続のしかた

接続する前に

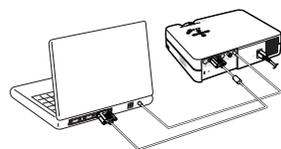


- 接続を始める前に、必ずプロジェクターや接続する機器の電源を切ってください。すべての接続が終わったあとで、プロジェクターおよび周辺機器の電源を入れます。
コンピュータと接続した場合、コンピュータの電源は接続後、一番最後に入れてください。
- 接続の際は、接続する機器の取扱説明書をよくお読みください。

接続例

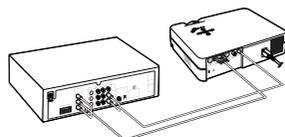
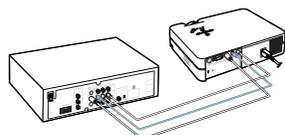
コンピュータとの接続

- RGBケーブルとコンピュータ音声ケーブル（φ3.5 ミニジャック市販品）を使って接続します。くわしくは**15ページ**をご覧ください。
- DIN-D-sub RS-232CアダプターとRS-232C ケーブルクロス・メス-メスタイプ（市販品）または別売の「AN-C10RS（10m）」を使って接続します。くわしくは**19ページ**をご覧ください。



ビデオ、オーディオ機器との接続

- ビデオやレーザーディスクなどと接続します。
くわしくは**17ページ**をご覧ください。
- DVDプレーヤーやBSデジタルチューナーなどコンポーネント（色差）出力端子付機器と接続します。くわしくは**18ページ**をご覧ください。



電源コードの接続

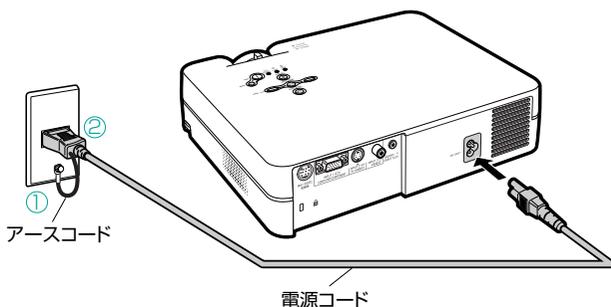
プロジェクターの後面にあるAC電源ソケットに電源コードを接続する

- 電源コードをコンセントに差し込む前に、必ずアースコードを取り付けてください。
- アースコードを取り外すときは、必ずプラグをコンセントから抜いた後、行ってください。

付属品



電源コード（1.8m）



コンピュータを接続する

RGBケーブルを使って接続する

1 付属のRGBケーブルを使ってプロジェクターとコンピュータを接続する

- ネジをしめて確実に接続してください。

2 音声を入力する場合は、コンピュータ音声ケーブル(市販品)を使ってプロジェクターとコンピュータを接続する

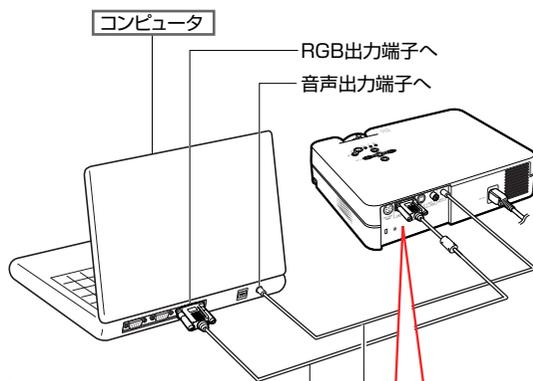
メモ

- この方法で接続したときは、メニューの「入力信号タイプ」を「RGB入力」に設定してください。(37ページ)
- 対応しているコンピュータの表示モードについては、62ページ「RGB入力信号(推奨信号)について」をご覧ください。一覧表に記載のない表示モードで使用すると、本機の機能の一部が使用できない場合があります。
- Macintoshと接続する場合、コンピュータケーブルにアダプターが必要になる場合があります。販売店、またはよりのシャープお客様相談センター(66ページ)へお問い合わせください。
- お使いのコンピュータによっては、出力信号を外部出力に切り換えないと映像が表示されない場合があります。外部出力への切り換え方法についてはコンピュータのユーザーズマニュアルをご覧ください。

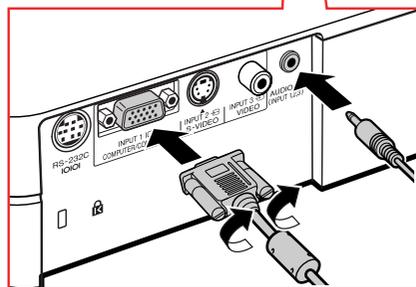
付属品



RGBケーブル
(3m)

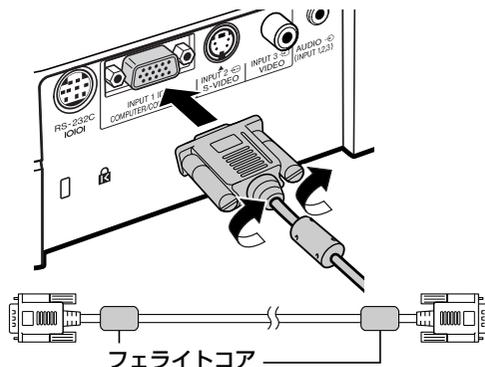


- 1 RGBケーブル
- 2 コンピュータ音声ケーブル
(φ3.5ミニジャック市販品)



固定ネジ付ケーブルの取り扱いについて

- 固定ネジ付ケーブルが端子の形状に合っていることを確かめて差し込みます。両端のネジでしっかりと固定してください。
- RGBケーブルについているフェライトコアは、電気用品安全法に適合するために必要なものですので、絶対に取り外さないでください。



「プラグ&プレイ」機能(15ピン端子に接続する)

- 本機はVESA-standard DDC 1/DDC 2Bに準拠しています。本機とVESA DDC準拠のコンピュータでは、設定内容を送受信(通信)しますので、早く簡単にセットアップすることができます。
- 「プラグ&プレイ」機能を使用する前には、必ずプロジェクターの電源を先に入れてから、接続したコンピュータの電源を入れてください。



- 本機のDDC プラグ&プレイ機能はVESA DDC互換コンピュータを接続した場合のみ操作できます。

ビデオ機器を接続する

ビデオ機器を市販のSビデオケーブルやビデオケーブル、音声ケーブルを使って接続する

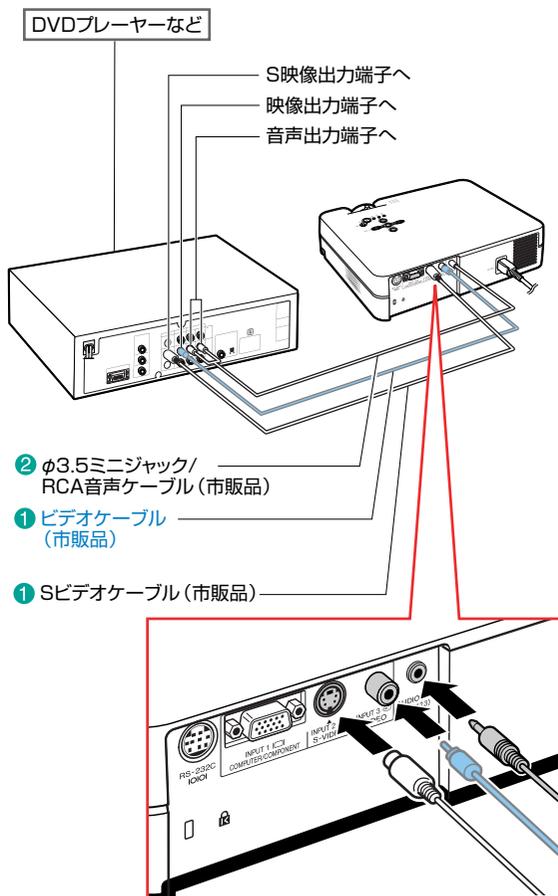
ビデオやレーザーディスクプレーヤーなどを市販のSビデオケーブルやビデオケーブル、音声ケーブルを使ってINPUT (入力) 2端子、INPUT (入力) 3端子、AUDIO (音声) 端子に接続します。

1 市販のSビデオケーブルまたはビデオケーブルを使って、プロジェクターとビデオ機器を接続する

2 φ3.5ミニジャック/RCA音声ケーブル (市販品) を使ってプロジェクターとビデオ機器を接続する

メモ

- S-VIDEO (Sビデオ) 端子は、色信号と輝度信号を分けることで、より高品位な画像を実現します。S-VIDEO (S映像) 出力端子付のビデオ機器を接続するときは、市販のSビデオケーブルを使い、INPUT (入力) 2のS-VIDEO (Sビデオ) 端子に接続することをおすすめします。
- 音声ケーブル (市販品) は、φ3.5ミニジャック/RCA音声ケーブルをご用意ください。



接続のしかた(つづき)

コンポーネント(色差)出力端子付きビデオ機器と接続する

DVDプレーヤーやBSデジタルチューナーなど、コンポーネント(色差)出力端子のある機器をINPUT(入力)1端子に接続するときは、3RCA/15ピンミニD-sub変換ケーブルを使い接続します。

1 3RCA/15ピンミニD-sub変換ケーブルを使ってプロジェクターとビデオ機器を接続する

2 φ3.5ミニジャック/RCA音声ケーブル(市販品)を使ってプロジェクターとビデオ機器を接続する

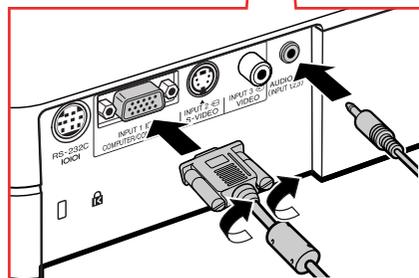
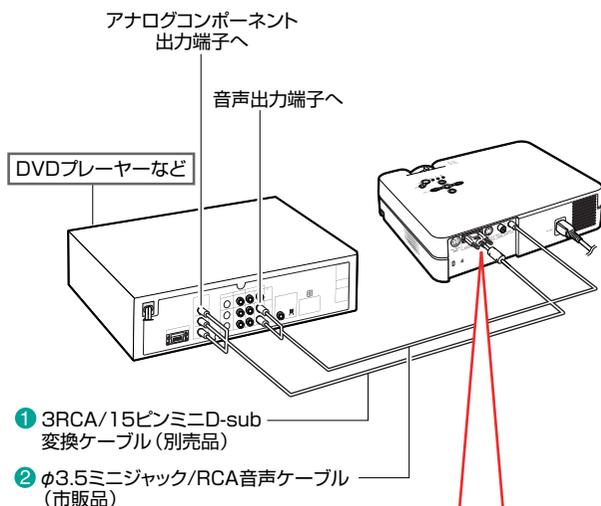
メモ

- この方法で接続したときは、メニューの「入力信号タイプ」を「色差入力」に設定してください。(37ページ)
- 525Pの信号を入力したときは、「特殊モード」の解像度を「480P」に設定してください。(38ページ)
- 音声ケーブル(市販品)は、φ3.5ミニジャック/RCA音声ケーブルをご用意ください。

別売品



3RCA/15ピンミニD-sub
変換ケーブル(3m)
形名: AN-C3CP



プロジェクターをコンピュータで制御する

コンピュータをDIN-D-sub RS-232CアダプターとRS-232Cケーブルを使って接続する

RS-232Cケーブル クロス・メス・メスタイプ(市販または別売品「AN-C10RS (10m)」)を使って、プロジェクターのRS-232C端子とコンピュータのシリアル(RS-232C)ポートを接続すると、コンピュータからプロジェクターを操作することができます。くわしくは61ページをご覧ください。

1 付属のDIN-D-sub RS-232CアダプターをRS-232Cケーブル(市販または別売品)に接続する

2 上記のケーブルを使って、プロジェクターとコンピュータを接続する

メモ

- RS-232C端子からの制御は、お使いのコンピュータポートが正しく設定されていないと機能しない場合があります。くわしくはお使いのコンピュータの取扱説明書をご覧ください。
- RS-232Cケーブルの接続については、**60ページ**もご覧ください。

お知らせ

- コンピュータ側のシリアル(RS-232C)ポート以外には接続しないでください。コンピュータまたは、プロジェクターが破損する恐れがあります。
- コンピュータの電源が入っているときにRS-232Cケーブルを抜き差ししないでください。コンピュータの故障の原因になることがあります。

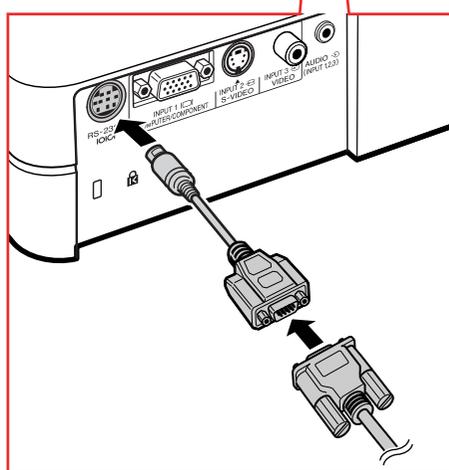
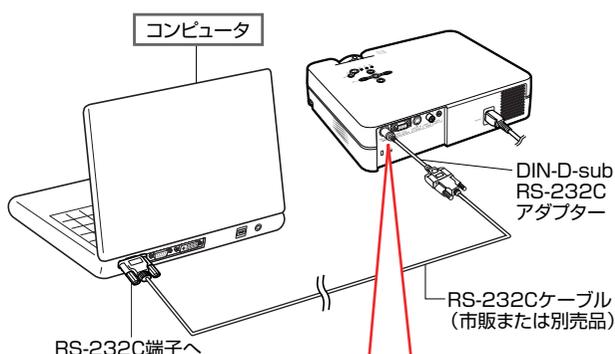
付属品



DIN-D-sub RS-232C
アダプター
(15cm)

別売品

RS-232Cケーブル (10m)
形名: AN-C10RS



アジャスターの使いかた

スクリーンに傾斜があるときや、設置面が少し傾いているときなど、アジャスターを使ってプロジェクターの傾きを微調整することができます。

また、スクリーンよりプロジェクターが低いときは、上に傾けることで投映画面の位置を高くすることができます。

1 アジャスターリリースボタンを押しながら、プロジェクターを持ち上げて高さを調整し、アジャスターリリースボタンから手を離す

2 プロジェクター前部のアジャスターをまわして、微調整する

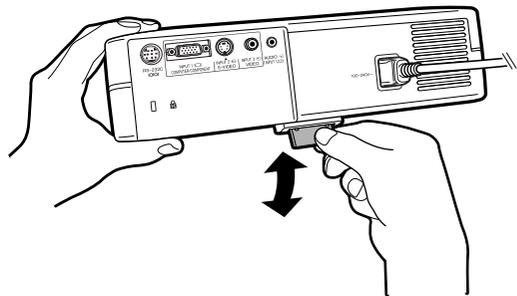
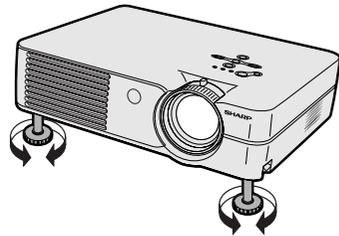
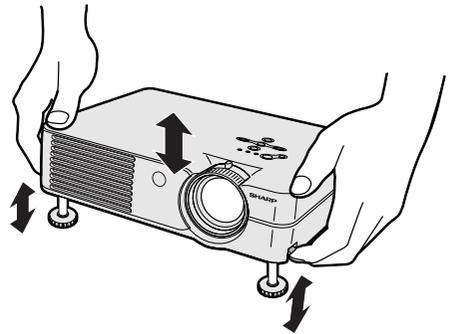
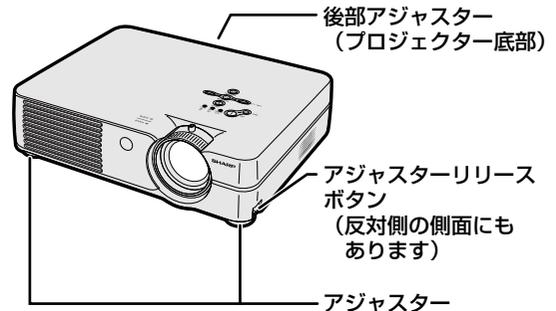
- スクリーンよりプロジェクターが高いときは、プロジェクターの後部アジャスターで高さを調整します。

メモ

- 元の位置に戻すときには、プロジェクターをしっかりと持ち、アジャスターリリースボタンを押したまま静かに下げます。
- プロジェクターは標準位置から前側で約12°まで、後側で約3°まで角度調整できます。
- アジャスターを使って高さを調整した場合、画面が台形に歪むことがあります。その場合は、「画面の台形歪みを補正する(キーストーン補正)」(29ページ)で画面の歪みを補正してください。

お知らせ

- アジャスターが伸びている状態でアジャスターリリースボタンを押すときは、プロジェクターをしっかりとってください。
- プロジェクターを上下するとき、レンズを持たないでください。
- プロジェクターを下げる際には、アジャスターとプロジェクターのすき間に指を挟まないようにご注意ください。

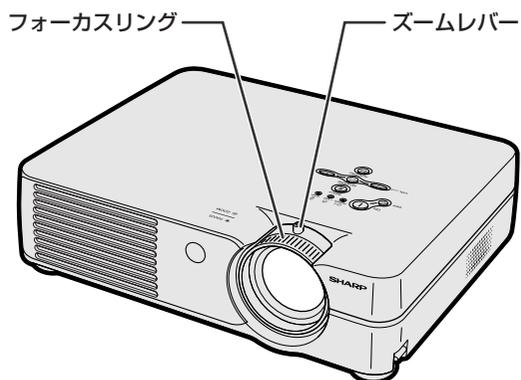


レンズ調整

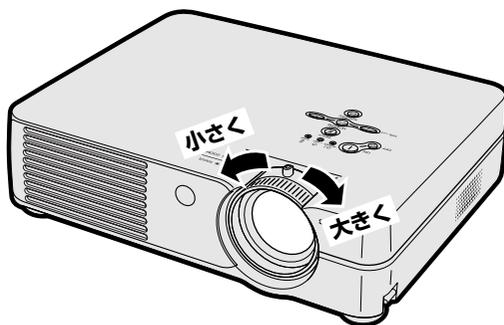
フォーカス(ピント)調整やズーム操作は本体で行います。

メモ

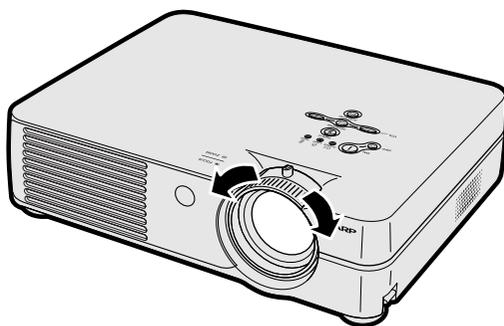
- フォーカス(ピント)調整は、お好みの大きさに合わせてから(ズームしてから)調整してください。



- 1 ズームは、ズームレバーを動かして操作する



- 2 フォーカス(ピント)は、フォーカスリングをまわして調整する



設置のしかた(つづき)

スクリーンを設置する

プロジェクターを水平な状態にして(アジャスターを使わない状態)、スクリーンに対して垂直に設置してください。この状態で最良の映像が得られます。



メモ

- プロジェクターのレンズがスクリーンの中心(水平方向)にくるように設置してください。レンズの中心を通る水平ラインが、スクリーンに対して垂直になっていないと、映像が歪んで見にくくなります。
- スクリーンを直射日光や照明の光のあたる場所に設置しないでください。スクリーンに直接あたる光で画面が白っぽくなり、見にくくなります。明るい光が入る部屋では、カーテンを引いて、照明を暗くしてください。
- 本機は偏光スクリーンに対応していません。

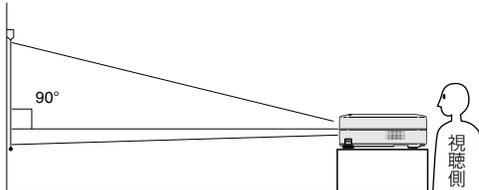
基本的な設置(前面からの投射)

- 投射したい画面サイズに合わせて、スクリーンから必要な距離をとってプロジェクターを設置してください。
(23ページ)



基本設置例

横から見たとき



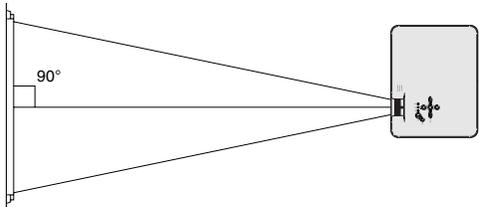
- スクリーンからプロジェクターまでの距離は、スクリーンの大きさによって変わります。

23ページ

- スクリーンの正面にプロジェクターを設置する場合は、工場出荷時の設定のままで投射できます。投射した画面の上下左右が反転している場合は、「投射方式」メニューで、「フロント」に設定し直してください。

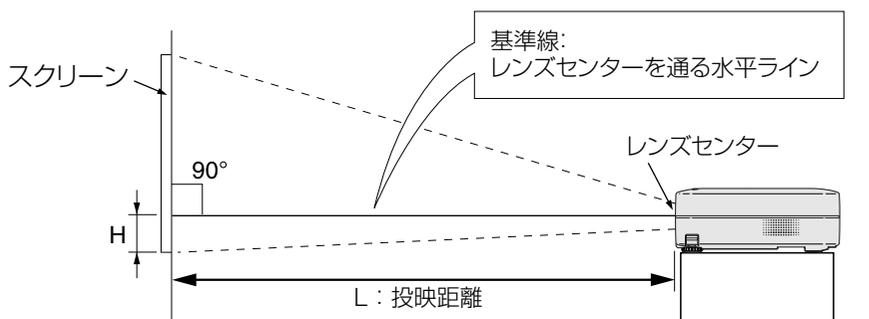
50ページ

上から見たとき



- レンズの中心を通る水平ラインが、スクリーンに対して垂直になるように、プロジェクターを設置してください。

画面サイズと投射距離



4:3ズームモード（コンピュータ入力時は、標準モードとなります。） 40ページ参照

画面サイズ			投射距離(L)		レンズセンター位置から 画面の最下端までの距離(H)
対角(型)	幅(m)	高さ(m)	L1:最長	L2:最短	
300	6.1	4.6	11.8m	9.8m	46.2cm
200	4.1	3.0	7.9m	6.5m	30.8cm
150	3.0	2.3	5.9m	4.9m	23.1cm
100	2.0	1.5	3.9m	3.2m	15.4cm
80	1.6	1.2	3.1m	2.6m	12.3cm
70	1.4	1.1	2.7m	2.3m	10.8cm
60	1.2	0.9	2.3m	1.9m	9.2cm
40	0.8	0.6	1.5m	1.3m	6.2cm

画面サイズと投射距離の近似式
 $L1 = 0.0396x - 0.0546$
 $L2 = 0.0330x - 0.0546$
 $H = 0.0606x \times 2.54$

x : 画面サイズ(型)
 L : 投射距離(m)
 L1 : 最長投射距離
 L2 : 最短投射距離
 H : レンズセンター位置から画面の最下端までの距離(cm)

16:9スクイーズモード

画面サイズ			投射距離(L)		レンズセンター位置から 画面の最下端までの距離(H)
対角(型)	幅(m)	高さ(m)	L1:最長	L2:最短	
300	6.6	3.7	12.9m	8.9m	-11.5cm
200	4.4	2.5	8.6m	7.1m	-9.2cm
150	3.3	1.9	6.4m	5.3m	-6.9cm
120	2.7	1.5	5.1m	4.3m	-5.5cm
100	2.2	1.2	4.3m	3.5m	-4.6cm
80	1.8	1.0	3.4m	2.8m	-3.7cm
70	1.6	0.9	3.0m	2.5m	-3.2cm
60	1.3	0.7	2.5m	2.1m	-2.8cm
40	0.9	0.5	1.7m	1.4m	-1.8cm

画面サイズと投射距離の近似式
 $L1 = 0.04314x - 0.0546$
 $L2 = 0.03595x - 0.0546$
 $H = -0.01807x \times 2.54$

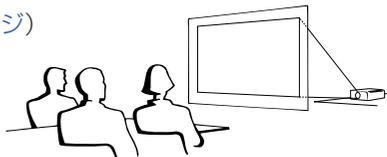
メモ

- 上記の近似式には±3%の誤差があります。
- 表中に“-”(マイナス記号)がついた値はレンズセンター位置がスクリーンの下になることを示しています。

反転映像を投映するとき

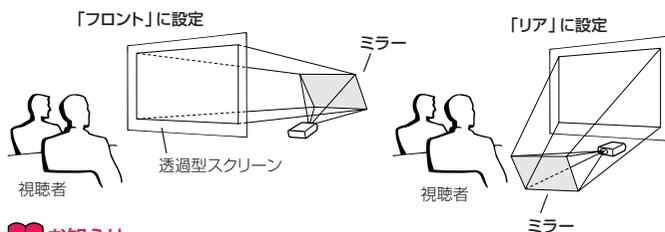
スクリーン背後からの投映

- 透過型スクリーンをプロジェクターと視聴者の間に設置してください。
- 「投映方式」メニューで「リア」に設定して、画面の左右を反転してください。(50ページ)



ミラーを使った投映

- レンズの正面にミラー(表面鏡)を設置してください。
- 図のように透過型スクリーンを視聴者とミラーの間に設置し投映するときは、「投映方式」メニューで「フロント」に設定してください。(50ページ)
- 視聴者側にミラーを置くときは、「投映方式」メニューで「リア」に設定してください。(50ページ)



お知らせ

- ミラーを使用する場合は、プロジェクターとミラーの位置に注意して、視聴者の目に光が入らないようにしてください。

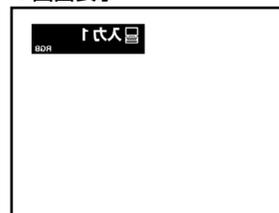
天井取り付けによる投映

- 天井に取り付ける場合は、別売の取り付けユニットおよび取り付けアダプター「AN-A10T」が必要です。また、取り付けの際は、必ずお買いあげの販売店にご相談ください。
別売の取り付けアダプター「AN-A10T」の取り付けは、天吊りアダプターに付属されている説明書をご覧ください。
- プロジェクターを天井に設置するときは、23ページのレンズセンター位置から画面の最下端までの距離(H)に合わせて設置位置を決めてください。
- 「投映方式」メニューで「天吊り」に設定して、画面の上下を反転してください。(50ページ)



工場出荷時の設定で投映すると…

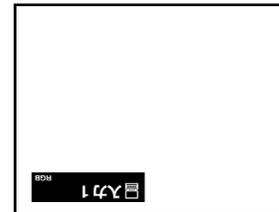
▼画面表示



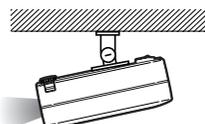
映像の左右を反転します

工場出荷時の設定で投映すると…

▼画面表示



映像の上下を反転します



投映のしかた

電源を入れてから切るまで

操作を始める前に、外部機器との接続を済ませておいてください。

お知らせ

- 本機は工場出荷時の画面表示言語を「英語」に設定しています。画面表示言語を「日本語」にしたいときは、28ページの手順で設定し直してください。

1 アースコードを取り付ける

2 電源プラグをコンセントに接続する

- プロジェクターの電源表示が赤色に点灯し、プロジェクターが待機状態になります。

3 本体の ON ① またはリモコンの ON ① を押す

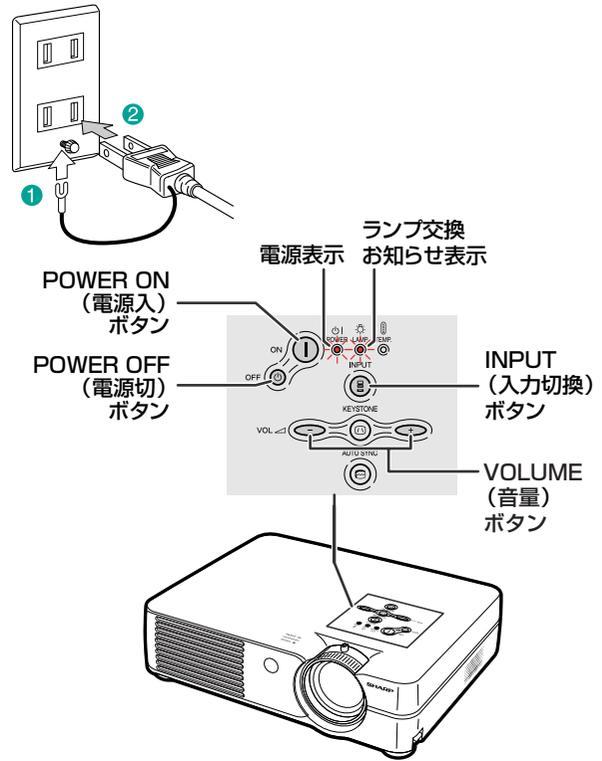
- 電源表示が緑色で点灯します。
- ランプが点灯するとランプ交換お知らせ表示が緑色点灯します。ランプ交換お知らせ表示が緑色点灯し「起動中」の画面表示が消えてから、プロジェクターの操作を始めてください。

メモ

- ランプ交換お知らせ表示はランプの状態をお知らせします。
緑色点灯: ランプ点灯中
緑色点滅: ランプ起動中 / 終了中
赤色点灯: ランプ交換
- 電源を切った直後に、再び電源を入れると、ランプ交換お知らせ表示が点灯するまで、多少時間がかかる場合があります。
- コンピュータからRS-232Cコマンドを使ってプロジェクターを制御している場合は、電源を入れた後、30秒以上待つてからコマンドを送信してください。
- システムロック(48ページ)が設定されているときキーコード入力画面が表示されます。設定したキーコードを入力してください。

メモ

- キーコードは、本体のボタンとリモコンのボタンを区別して扱います。本体のボタンでシステムロックを設定した場合は本体のボタンで、リモコンのボタンで設定した場合はリモコンのボタンでキーコードを入力してください。
- システムロック機能について詳しくは、48ページをご覧ください。



▼「起動中」画面表示

起動中



▼キーコード入力画面表示



投映のしかた(つづき)

4 リモコンの 、、 を押し、 入力モードを選ぶ

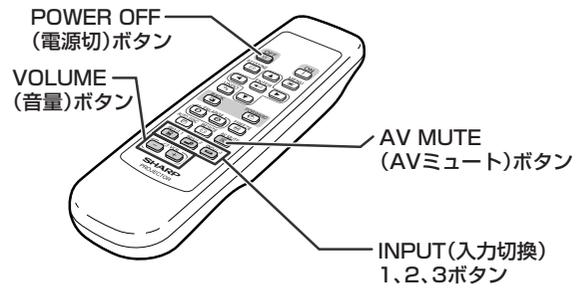
- 本体の  を押すと、
→入力1→入力2→入力3
の順番で切り換わります。

メモ

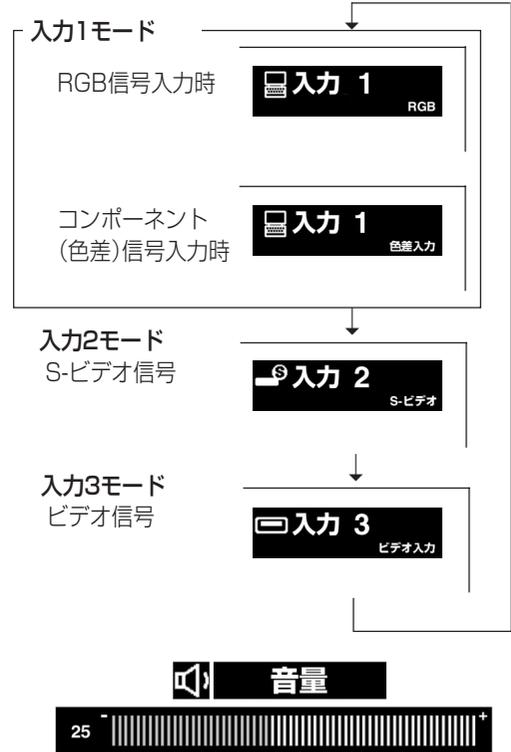
- 信号が入力されていないと、「入力無信号」と画面表示されます。プロジェクターで認識できない信号を受けると、「判別不能」と画面表示されます。
- 「OSD表示」が「」(切)に設定されていると、入力モードは表示されません。(44ページ)

入力モードについて

入力1 (RGB/色差)	RGB入力端子に接続した機器のRGB信号またはコンポーネント(色差)信号を投映したいとき
入力2 (S-ビデオ)	S-ビデオ入力端子に接続した機器の映像を投映したいとき
入力3 (ビデオ)	ビデオ入力端子に接続した機器の映像を投映したいとき



▼表示画面(例)



5 リモコンの または を押し、 スピーカーの音量を調整する

メモ

-  を押すと音量が大きくなります。
 を押すと音量が小さくなります。
- 本体の 、 で調整することもできます。

6 本体のOFF またはリモコンの を押し、確認画面が表示されている間にもう一度、同じボタンを押す

メモ

- 間違って本体のOFF  またはリモコンの  を1回押したときは、そのままお待ちください。しばらくすると確認画面が消え、投映状態に戻ります。
- 「終了中です。しばらくお待ちください。」と表示されているときに、本体を操作することはできません。

お知らせ

- 投映中および冷却ファンの動作中に、電源プラグを抜かないでください。冷却ファンも同時に止まるため、温度上昇により故障の原因となります。

映像と音声を一時的に消したいときはリモコンの を押す。

メモ

- もう一度  を押すと、映像と音声に戻ります。

▼確認画面表示



電源オフしますか？

決定: もう一度押す 中止: 少し待つ

終了中です。しばらくお待ちください。



AV ミュート

投映のしかた(つづき)

画面表示言語を選ぶ

本機は表示画面の言語として英語、ドイツ語、スペイン語、オランダ語、フランス語、イタリア語、スウェーデン語、ポルトガル語、中国語、韓国語、日本語に切り換えることができます。

1 リモコンの を押す

- 選んでいる入力モードの「映像調整」メニュー画面が表示されます。

2 ◀または▶を押し「言語選択」メニューのアイコンを選ぶ

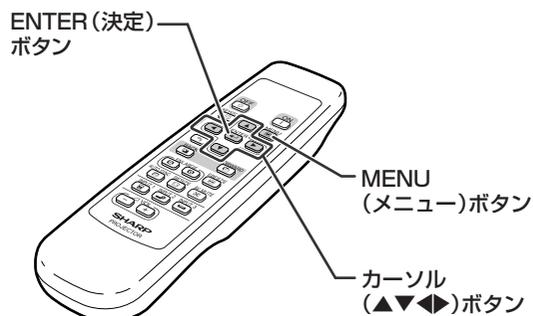
- 「言語選択」メニュー画面が表示されます。

3 ▲または▼で表示したい言語を選び、 を押す

- 選んだ言語表示になります。

4 リモコンの を押す

- メニュー画面が消えます。



「言語選択」メニューのアイコン



画面の台形歪みを補正する(キーストーン補正)

画面の台形歪みを補正する

キーストーン(画面の台形歪み)補正が行えます。

メモ

※キーストーン補正とは

- 映像をスクリーンに対して上下から角度をつけて投映すると、映像が台形に歪みます。この台形の歪みを補正する機能がキーストーン補正です。
- キーストーンで上下に補正できる角度は、スクリーンに対して上下±約35度までです。(画像表示モード:「標準」(コンピュータ入力信号の場合)/「ズーム」(ビデオ入力信号の場合))
- 設置方法について、くわしくは7ページ、23ページをご覧ください。

KEYSTONE
(キーストーン補正)
ボタン

UNDO(戻す)
ボタン

カーソル(▼▲◀▶)
ボタン



1 KEYSTONE ボタンを押す

- 本体の ボタンを使うこともできます。

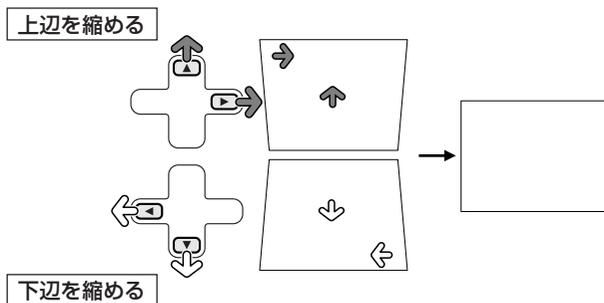


2 ▲、▶または▼、◀を押し、調整する

- 本体の または を使ってキーストーン補正值を調整することもできます。

メモ

- 台形の歪みは±約35度まで補正できるので、スクリーンをその角度まで傾けて設置することもできます。(画像表示モード:「標準」(コンピュータ入力信号の場合)/「ズーム」(ビデオ入力信号の場合))
- キーストーン補正調整を取り消すときは、 を押します。
- 調整中、直線や表示された映像の端がギザギザになっているように見えることがあります。



3 KEYSTONE ボタンを押す

- 本体の ボタンを使うこともできます。

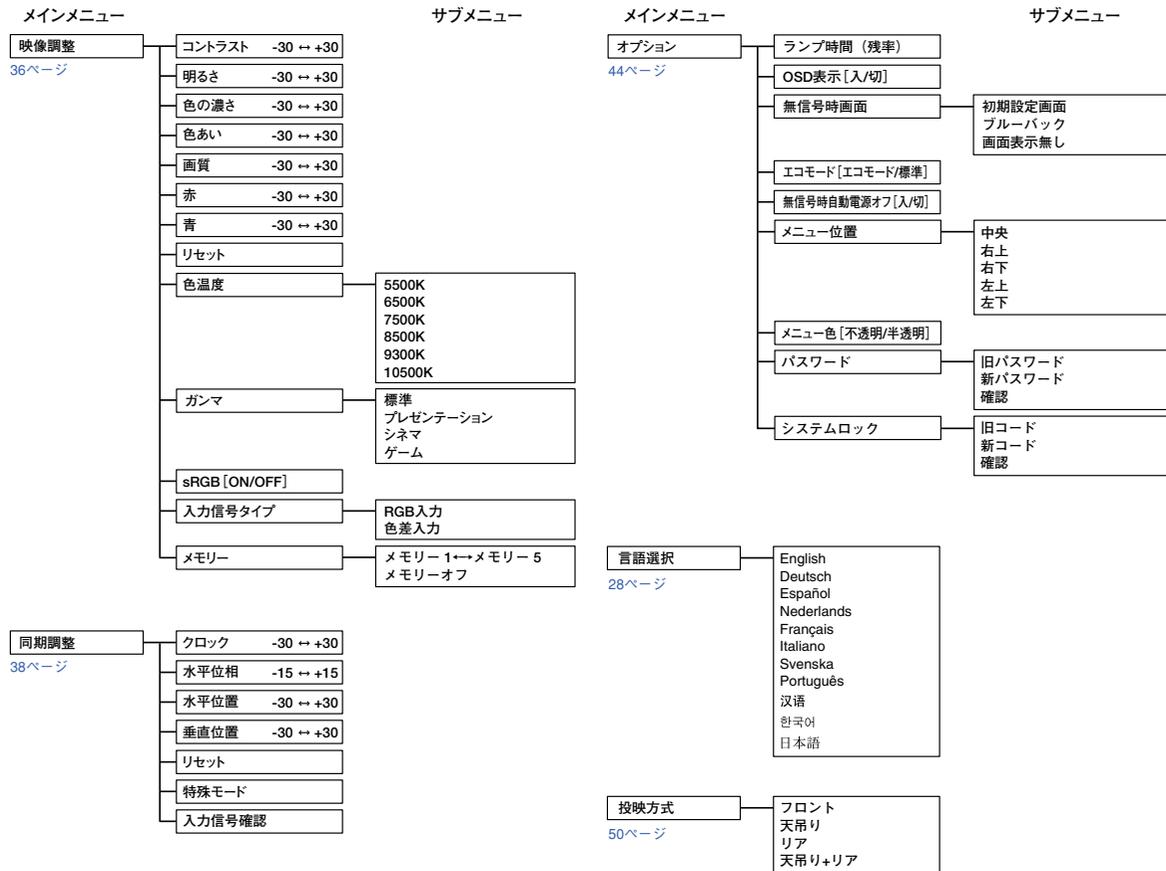
メモ

- 4:3ズーム画面で設定した内容は、そのまま16:9でも有効です。

メニュー表示内容一覧

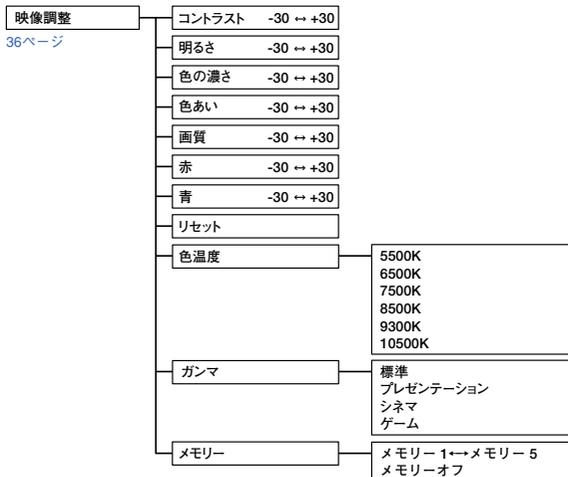
次の項目がプロジェクターで設定できます。

■入力1モードのとき



- INPUT (入力) 1の「映像調整」メニューのうち「色の濃さ」、「色あい」、「画質」は入力信号タイプが「色差入力」に設定されている場合のみ表示されます。
- INPUT (入力) 1の「映像調整」メニューのうち「sRGB」は入力信号タイプが「RGB入力」に設定されている場合のみ表示されます。

メインメニュー

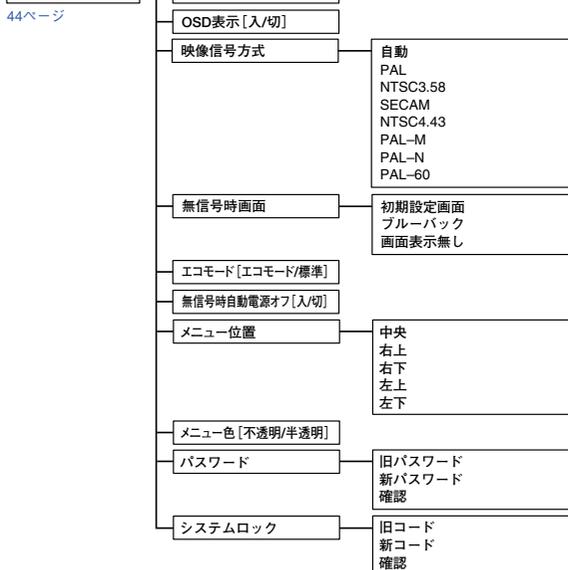


サブメニュー

メインメニュー



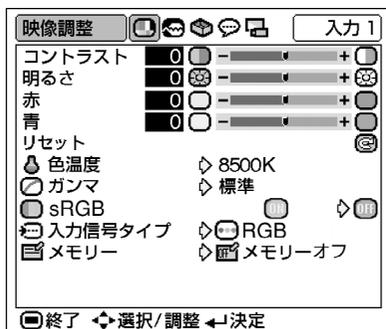
オプション



メニューの使いかた

このプロジェクターには、画像の調整や、いろいろな設置に対応するための調整メニューがあります。メニューの操作は調整と設定の2つの方法がありますので、次の手順に従ってリモコンで行います。(調整方法は32～33ページ、設定方法は34～35ページをご覧ください。)

入力1 RGBモードの「映像調整」メニュー画面例



メニューの選択(調整)

1 MENU を押す

- 選んでいる入力モードそれぞれの「映像調整」メニュー画面が表示されます。

メモ

- 右下図は、入力1 RGBモードの表示画面例です。



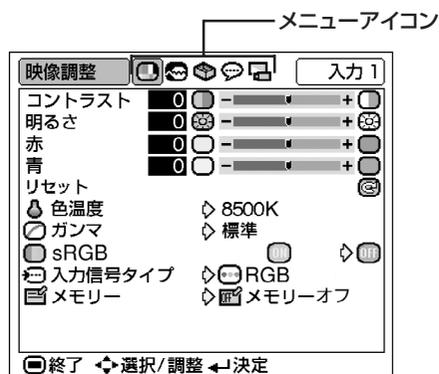
2 ◀または▶ を押し、調整するメニュー画面を選ぶ

- 選ばれたメニュー画面のアイコンの色が変わります。

メニューアイコン	メニュー画面
	映像調整
	同期調整
	オプション
	言語選択
	投映方式

メモ

- 入力2または入力3のときは「同期調整」メニュー画面は表示されません。
- メニューの詳細については30～31ページのメニュー表示内容一覧をご覧ください。



3 ▲または▼を押し、調整する項目を選ぶ

- 選ばれた調整項目の色が変わります。

メモ

- 画面を見ながら調整したい場合は、調整項目をひとつだけ表示することができます。ひとつの項目だけを表示したいときは、調整する項目を選んだ後で^{ENTER}を押してください。選んだ調整項目だけが表示されます。

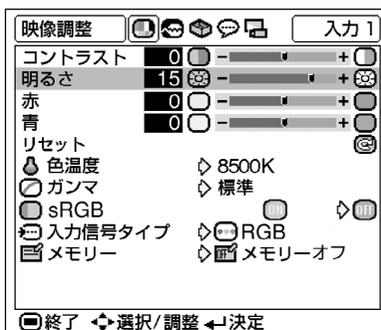
この表示の状態で▲または▼を押すと次の項目(「明るさ」の次は「赤」)が表示されます。

- ^{UNDO}を押すと、前の画面に戻ります。



4 ◀または▶を押し、選んだ項目の調整(設定)をする

- 調整した内容が保存されます。



5 MENUを押す

- メニュー画面が消えます。

メニューの使いかた(つづき)

メニューの選択(設定)

1

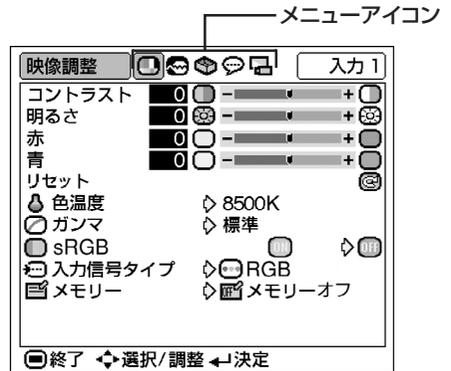
MENU

を押す

- 選んでいる入力モードそれぞれの「映像調整」メニュー画面が表示されます。

 **メモ**

- 右下図は入力1 RGBモードの表示画面例です。



2

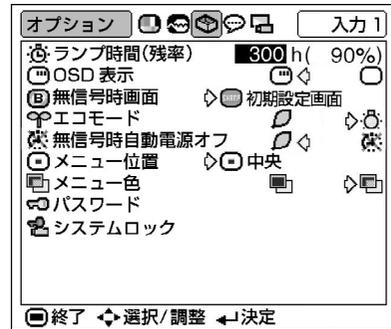
◀または▶を押し、調整するメニュー画面を選ぶ

- 選ばれたメニュー画面のアイコンの色が変わります。

メニューアイコン	メニュー画面
	映像調整
	同期調整
	オプション
	言語選択
	投映方式

 **メモ**

- 入力2または入力3のときは「同期調整」メニュー画面は表示できません。
- メニューの詳細については30～31ページのメニュー表示内容一覧をご覧ください。



3 ▲または▼を押し、設定する項目を選び、▶を押しサブメニューを表示する

- 選ばれた設定項目の色が変わります。
- 「オプション」メニュー画面の「パスワード」または「システムロック」を選んだときは
ENTER
ENTER を押してください。

メモ

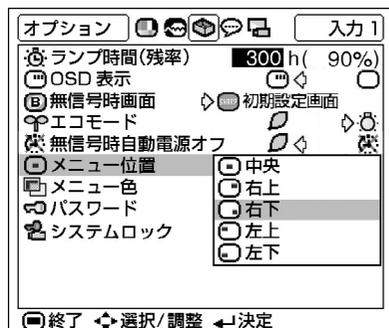
- UNDO
• ◀ または ◀ を押すと、前の画面に戻ります。
- 項目によっては、◀ ▶ ボタンを押し「▶」でアイコンを選び設定します。



サブメニュー

4 ▲または▼を押し、サブメニュー表示された項目の設定を選ぶ

- 手順3で「パスワード」を選んだとき
…47ページ
- 手順3で「システムロック」を選んだとき
…48ページ



5 ENTER ENTER を押す

- 選んだ項目が設定されます。

6 MENU MENU を押す

- メニュー画面が消えます。

映像を調整する

映像の濃淡や明るさを見やすく調整することができます。メニュー画面の操作方法については、「メニューの使いかた」(32~35ページ)をご覧ください。

入力1 RGBモードの「映像調整」メニュー画面例



見やすい映像に調整する

「映像調整」メニュー画面で見やすい映像に調整する

メニュー画面の調整については、32ページをご覧ください。

調整項目	◀ボタン	▶ボタン
コントラスト	コントラストを弱くする	コントラストを強くする
明るさ	画像を暗くする	画像を明るくする
色の濃さ	うすい色にする	濃い色にする
色あい	紫がかった色あいにする	緑がかった色あいにする
画質	画像の輪郭をやわらかくする	画像の輪郭をくっきりさせる
赤	赤みを弱くする	赤みを強くする
青	青みを弱くする	青みを強くする

メモ

- 入力1を選んでいるとき、「入力信号タイプ」が「RGB入力」のときは「色の濃さ」「色あい」「画質」は表示されません。
- 入力1の「入力信号タイプ」が「色差入力」に設定されている場合の「画質」調整は525I、525P、540P、580I、580P、750P、1125I、1035Iの信号が入力されているときに行えます。
- 設定を工場出荷時の状態に戻したいときは、「リセット」を選び、**ENTER** (↵) を押します。

💡 色温度(色温度を設定する)

「映像調整」メニュー画面で「色温度」を選び設定する

メニュー画面の設定については、34ページをご覧ください。

選択項目	内 容
5500K	赤みがかった映像になります。 (温かい感じの色にしたいとき)
6500K	
7500K	
8500K	
9300K	青みがかった映像になります。 (冷たい感じの色にしたいとき)
10500K	

メモ

- 「色温度」の設定項目はおおよその数値です。

🗖️ ガンマ(ガンマ補正をする)

映像の違いや、部屋の明るさの違いにより映像が見にくい場合は、ガンマ補正機能を使って見やすくなります。映画やコンサートなど暗いシーンの多い映像を見たり、明るい部屋で映像を見たりする場合は、この機能を使うと、より見やすい映像が楽しめます。

「映像調整」メニュー画面で「ガンマ」を選び、ガンマ補正を設定する

メニュー画面の設定については、[34ページ](#)をご覧ください。

標準
プレゼンテーション
シネマ
ゲーム

選択項目	内容
標準	標準設定です。
プレゼンテーション	映像をより明るくしたいときに設定します。
シネマ	映画などを見るときに設定します。
ゲーム	自然な色のグラデーションがかかります。ゲームソフトを再生するときに設定します。

📝 メモ

- 「映像調整」メニューの「sRGB」が「ON」に設定されている場合、入力1ではガンマ補正が選べません。

🗖️ sRGB(sRGBを設定する)

「sRGB」を「ON」に設定すると、原画像に基いた自然な色あいで表示されます。

「映像調整」メニュー画面で「sRGB」を選び設定する

メニュー画面の設定については、[34ページ](#)をご覧ください。

📝 メモ

- 「sRGB」が「ON」に設定されているとき
 - ガンマ補正は設定できません。
 - 「映像調整」メニューの「赤」、「青」、「色温度」は調整できません。
- sRGB機能についての詳しい情報は、<http://www.srgb.com/>を参照してください。

📖 お知らせ

- 「sRGB」を「ON」に設定すると投映画面が暗くなりますが、故障ではありません。

🗖️ 入力信号タイプ(入力信号タイプを設定する)

INPUT (入力) 1 端子に接続した入力信号に合わせてRGBかコンポーネント(色差)を選択します。

「映像調整」メニュー画面で「入力信号タイプ」を選び設定する

メニュー画面の設定については、[34ページ](#)をご覧ください。

選択項目	内容
RGB入力	RGB信号を入力したときに設定します。
色差入力	コンポーネント(色差)信号を入力したときに設定します。

🗖️ メモリー(画面調整の内容を登録する)

「映像調整」メニューで設定する内容を登録することができます。登録した内容は、入力モードや入力信号タイプに関係なく、後から呼び出して使用することができます。

■登録するとき

「映像調整」メニューで設定する前に、登録するポジションを選択しておきます。

「映像調整」メニュー画面で「メモリー」を選び、ポジションを選択する

メニュー画面の選択については、[34ページ](#)をご覧ください。

選択項目	内容
🗖️ メモリー1	「映像調整」メニューのすべての項目の調整値が選択したポジションに登録されます。
🗖️ メモリー2	
🗖️ メモリー3	
🗖️ メモリー4	
🗖️ メモリー5	
🗖️ メモリーオフ	各入力モードで設定した映像調整値がそのまま記憶されます。ここで記憶された調整値は、他の入力モードを選択した場合には反映されません。

■登録した内容を呼び出すとき

登録したポジションを選択すると、「映像調整」メニューの内容は登録されているポジションの内容に変わります。

「映像調整」メニュー画面で「メモリー」を選び、ポジションを選択する

メニュー画面の選択については、[34ページ](#)をご覧ください。

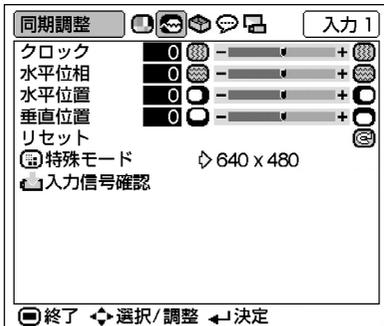
📝 メモ

- 登録内容を変更するときは、内容を変更するポジションを選択してから、「映像調整」メニューの内容を変更します。

コンピュータの画面を調整する

「同期調整」メニュー画面を使うと、同期調整と表示モードの設定や入力信号の確認が行えます。メニュー画面の操作については、「メニューの使いかた」(32～35ページ)をご覧ください。

入力1 RGBモードの「同期調整」メニュー画面例



見やすい画面に調整する(同期調整)

縦縞模様やチラツキが気になるときは同期調整してください。

「同期調整」メニュー画面で見やすい画面に調整する

メニュー画面の調整については、32ページをご覧ください。

調整項目	調整内容
クロック	垂直ノイズを調整します。
水平位相	水平ノイズを調整します(トラッキング調整)。
水平位置	スクリーン上の映像を左右に移動させます。
垂直位置	スクリーン上の映像を上下に移動させます。

メモ

- コンピュータの映像は本体の  またはリモコンの  を使うと、簡単に調整できます。
- 設定を工場出荷時の状態に戻したいときは、「リセット」を選び  を押します。

特殊モード(特殊モードを設定する)

通常、入力信号の種類が判別されると、自動的に正しい解像度モードが選択されますが、信号の種類によっては、コンピュータの表示モードに合わせる設定を行う必要があります。

「同期調整」メニュー画面で「特殊モード」を選び解像度を設定する

メニュー画面の設定については、34ページをご覧ください。

メモ

- コンピュータのーラインおきに繰り返されるパターン(水平方向の縞模様)を表示させないでください。(チラツキがおこり、画面が見にくくなる場合があります。)
- 525P(プログレッシブ)出力のDVDプレーヤーや、デジタルビデオを接続したときは、480Pを選択してください。
- 現在選択されている入力信号の情報を確認する場合は、「入力信号確認(入力信号情報を表示する)」(39ページ)をご覧ください。

入力信号確認(入力信号情報を表示する)

「同期調整」メニュー画面で「入力信号確認」を選び確認する

メニュー画面の確認については、[32ページ](#)をご覧ください。

メモ

- DVDプレーヤーやデジタルビデオなどAV機器から入力される信号では、有効走査線数を表示します。

入力信号	本機の表示
525I	480I
525P	480P
750P	720P
1125I	1080I

画像表示モードを選ぶ

入力された信号の種類に合わせて、画像表示モード（「標準」・「ドットバイドット」・「ボーダー」・「スクイーズ」・「ズーム」）を切り換えることができます。40、41ページの表を参考に最適な画像サイズを選んでください。

入力信号の種類によって、画像の表示を切り換える

RESIZE
を押す

- 押すたびに、画像表示モードは40、41ページのように変わります。
- 初期の状態に戻るには、「画面サイズ」が画面に表示されているとき、を押してください。

UNDO(戻す)
ボタン

RESIZE
(画面サイズ切換)
ボタン



コンピュータ

		標準		ドットバイドット		ボーダー		スクイーズ	
		PG-A10X	PG-A10S	PG-A10X	PG-A10S	PG-A10X	PG-A10S	PG-A10X	PG-A10S
4:3	SVGA (800 × 600)	1024 × 768	800 × 600	800 × 600	—	768 × 576	600 × 450	1024 × 576	800 × 450
	XGA (1024 × 768)			—	1024 × 768				
	SXGA (1280 × 960)			1280 × 960	1280 × 960				
	SXGA+ (1400 × 1050)			1400 × 1050	1400 × 1050				
その他	1280 × 720	960 × 768	750 × 600	1280 × 1024	1280 × 1024	720 × 576	562 × 450	960 × 576	750 × 450

入力信号			表示イメージ			
コンピュータ		画像タイプ	標準	ドットバイドット	ボーダー	スクイーズ
PG-A10X	PG-A10S		縦横比を維持したまま、4:3スクリーンの内側いっぱい画像全体を投影します。	画像を元の解像度で投影します。	パネルの上下左右をカットした4:3部分にアスペクト比を保ったままの画像を投影するモード	パネルの上下をカットした16:9部分を使って横方向に拡大した画像を投影するモード
4:3 (XGA)	4:3 (SVGA)	縦横比 4:3	*	*	*	*
XGA	SVGA	縦横比 4:3	*	—	*	*
4:3 (XGA)	4:3 (SVGA)	縦横比 4:3	*	*	*	*
SXGA (1280×1024)		縦横比 5:4	*	*	*	*
1280×720		縦横比 16:9	—	—	—	*

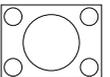
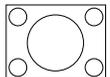
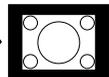
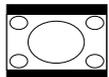
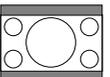
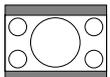
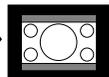
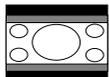
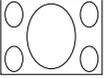
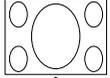
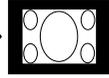
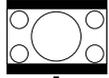
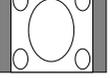
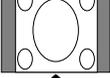
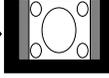
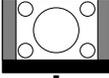
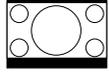
* それぞれの映像を正しい縦横比と正しい表示範囲で見るためのモード

 : マスクされ映像がない部分
 : パネルからはみ出した信号部分

ビデオ

		ズーム		標準		スクイーズ	
		PG-A10X	PG-A10S	PG-A10X	PG-A10S	PG-A10X	PG-A10S
525I, 525P, NTSC, PAL, SECAM 540P, 750P, 1125I	縦横比 4:3 レターサイズ、スクイーズ	1024 × 768	800 × 600	768 × 576	600 × 450	1024 × 576	800 × 450
	縦横比 16:9	—	—	—	—		

• 540P、750Pまたは1125Iの信号を入力したときは、「スクイーズ」に固定されます。

入力信号		表示イメージ		
		ズーム 画像全体を投射します。	標準 4:3の画像を16:9スクリーンの内側いっぱい投射します(画面の両端がマスクされます)。	スクイーズ スクイーズ記録された16:9の画像を16:9スクリーンに均一に投射します(画面の上下が黒くなります)。
DVD / ビデオ	画像タイプ			
525I, 525P, NTSC, PAL, SECAM	 縦横比 4:3	* 	* 	* 
	 レターボックス	* 	* 	* 
	 スクイーズ 16:9の画像			* 
	 スクイーズ 4:3の画像			* 
540P, 750P, 1125I (16:9)	 縦横比 16:9の画像	—	—	* 
	 縦横比 16:9 (16:9スクリーンに4:3) の画像を投射	—	—	* 

* それぞれの映像を正しい縦横比と正しい表示範囲で見えるためのモード

-  : マスクされ映像がない部分
-  : 元の信号自体に映像が無い部分

静止画・デジタル拡大機能

投映中の映像を静止画にしたり、映像の一部を拡大することができます。静止画や映像の一部についてより詳しい説明をするときに便利な機能です。



映像を静止状態にする

1

FREEZE



を押す

- 投映中の映像が静止画になります。

2

FREEZE



を再度押すと、接続した機器の現在の映像に戻る

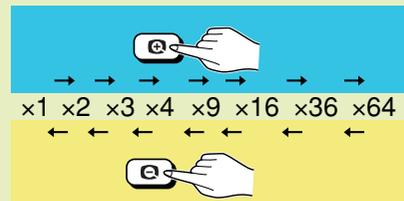
映像の一部を拡大表示する

1

を押す

- ×2の倍率に拡大されます。
- (拡大)または(縮小)で、投映画像の拡大、縮小が行えます。

メモ



- ▼▲◀▶を使って拡大部分の位置を移動することができます。

2

UNDO



を押し解除する

- 倍率は×1に戻ります。

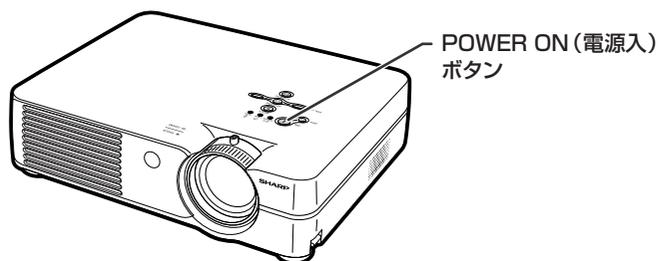
メモ

次の場合、拡大された映像が元の大きさ(×1)に戻ります。

- 入力切換を行ったとき
- UNDO が押されたとき
- 入力信号が変更されたとき
- 入力信号の解像度やリフレッシュレート(垂直周波数)が変わったとき

プロジェクターの操作ボタンをロックする

この機能は、プロジェクター本体上面のボタンをロックし、誤操作を防止するときに使用します。



キーロックの設定

本体の電源が入っているときに、本体のON ①を約3秒間押し続ける



メモ

- キーロックをした状態で本機を操作したいときはリモコンで操作してください。
- 「起動中」と画面表示されているときにはキーロックの設定を行えません。

キーロック ON

キーロックの解除

本体の電源が入っているときに、本体のON ①を約3秒間押し続ける

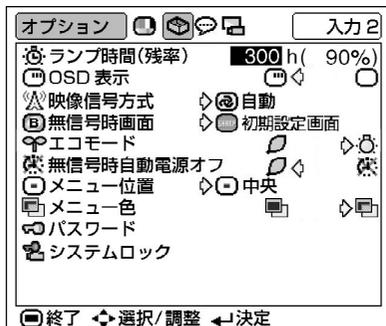
- 本体が待機状態のときに、本体のON ①を約3秒間押し続けてもキーロックは解除できます。

キーロック OFF

「オプション」メニュー画面を使った設定

「オプション」メニュー画面を使ってさまざまな設定を行うことができます。
メニュー画面の操作については、「メニューの使いかた」(32～35ページ)をご覧ください。

入力2 Sビデオモードの「オプション」メニュー画面例



ランプ時間(残率)(ランプの使用時間を確認する)

ランプの使用時間と残率が表示されます。

「オプション」メニュー画面を表示し、ランプの使用時間と残率を確認する

メニュー画面の確認については、32ページをご覧ください。

ランプ使用条件	ランプ残率	
	100%	5%
常に「  」(エコモード)にして使用	4.500時間	約225時間
常に「  」(標準モード)にして使用	3.000時間	約150時間

メモ

- ランプは、ランプ残率が5%で交換することをおすすめします。
- 上の表は、「」(エコモード)または「」(標準モード)で継続使用した場合を例に記載しています。
- ランプ残率(%)は「」(エコモード)または「」(標準モード)へ切り換える割合により増減します。(45ページ)

ランプの交換は、お買いあげの販売店、またはもよりのお客様相談センター(66ページ)にお問い合わせください。

OSD表示(画面表示を設定する)

この機能を使うと、画面の表示を消すことができます。メニューで「OSD表示」を「」(入)または「」(切)に設定すると、INPUT(入力切替)ボタンを押しても、「入力1」などの画面表示が表れません。

「オプション」メニュー画面の「OSD表示」を選び設定する

メニュー画面の設定については、34ページをご覧ください。

選択項目	内容
 (入)	画面表示のすべてが表示されます。
 (切)	入力モード表示、音量表示、AVミュート、静止画表示、自動同期調整表示、拡大表示、「無効なボタンが押されました。」「キーロック中です。」が表示されません。

Ⓐ 映像信号方式(映像信号方式を設定する)

映像信号方式は工場出荷時、「自動」に設定されています。しかし「自動」では映像信号方式の違いにより、接続したAV機器の映像が鮮明に投映できない場合があります。そのようなときは、映像信号方式を切り換えてください。

「オプション」メニュー画面の「映像信号方式」を選び設定する

メニュー画面の設定については、[34ページ](#)をご覧ください。

(A) 自動
(P1) PAL
(N2) NTSC3.58
(S) SECAM
(M1) NTSC4.43
(P2) PAL-M
(P3) PAL-N
(P4) PAL-60

選択項目	内容
(P1) PAL	PAL方式の映像機器を接続したとき
(S) SECAM	SECAM方式の映像機器を接続したとき
(M1) NTSC4.43	PAL方式の機器でNTSCの方式の映像を再生したとき
(N2) NTSC3.58	NTSC方式の映像機器を接続したとき

メモ

- 映像信号方式は、INPUT (入力) 1モードでは設定できません。
- 「自動」では、PAL-NおよびPAL-Mを入力してもPAL表示になります。

Ⓑ 無信号時画面(無信号時およびオープニングの画面を設定する)

「オプション」メニュー画面の「無信号時画面」を選び、無信号時およびオープニング時に表示する画面を設定する

メニュー画面の設定については、[34ページ](#)をご覧ください。

- 初期設定画面
- ブルーバック
- 画面表示無し

選択項目	内容
<input checked="" type="radio"/> 初期設定画面	SHARP初期設定画面
<input type="radio"/> ブルーバック	青い画面
<input checked="" type="radio"/> 画面表示無し	入力信号画面

メモ

- 入力信号がスノーノイズのときは、そのままスノーノイズの画面になります。

Ⓒ エコモード(エコモードを設定する)

「オプション」メニュー画面の「エコモード」を選び、「」(エコモード)または「」(標準モード)を選ぶ

メニュー画面の選択については、[34ページ](#)をご覧ください。

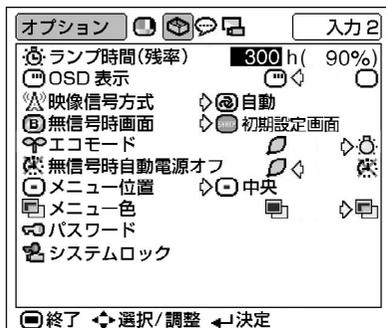
選択項目	輝度	消費電力(AC100Vのとき)	ランプ寿命
 (エコモード)	80%	190W	約4,500時間
 (標準モード)	100%	240W	約3,000時間

メモ

- 「」(エコモード)に対して、消費電力が低減すると同時にランプ寿命が長くなります。(投映画面の輝度も約20%低減します。)
- 工場出荷時は「」(標準モード)に設定されています。

「オプション」メニュー画面を使った設定(つづき)

入力2 Sビデオモードの「オプション」メニュー画面例



無信号時自動電源オフ(無信号時自動電源オフ機能)

「」(入)に設定したときは15分以上入力信号が検出されないと、プロジェクターは自動的に電源を切ります。「」(切)に設定すると無信号時自動電源オフ機能が「切」になります。

「オプション」メニュー画面の「無信号時電源オフ」を選び、「」(入)または「」(切)を選ぶ

メニュー画面の選択については、[34ページ](#)をご覧ください。

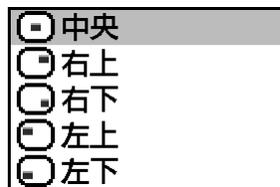
メモ

- 無信号時自動電源オフ機能が「」(入)に設定されているとき、電源が切れる5分前になると、1分ごとに「●分後に電源オフ」の表示がでます。

メニュー位置(メニューの位置を設定する)

「オプション」メニュー画面の「メニュー位置」を選び、メニュー画面をスクリーンのどこに表示させるのかを設定する

メニュー画面の設定については、[34ページ](#)をご覧ください。



選択項目	内容
<input type="radio"/> 中央	スクリーン中央にメニュー画面が表示されます。
<input type="radio"/> 右上	スクリーン右上にメニュー画面が表示されます。
<input type="radio"/> 右下	スクリーン右下にメニュー画面が表示されます。
<input type="radio"/> 左上	スクリーン左上にメニュー画面が表示されます。
<input type="radio"/> 左下	スクリーン左下にメニュー画面が表示されます。

メニュー色(メニューの色を設定する)

「オプション」メニュー画面の「メニュー色」を選び、「」(不透明)または「」(半透明)を選ぶ

メニュー画面の選択については、[34ページ](#)をご覧ください。

選択項目	内容
<input type="checkbox"/> (不透明)	メニュー表示内の背景色が青くなります。
<input type="checkbox"/> (半透明)	メニュー表示内が半透明になります。

パスワード(4桁の数字でパスワードを設定する)

- パスワードは、システムロック機能(48ページ)を有効にするための4桁の数字です。
- 工場出荷時は、パスワード、システムロックが未設定の状態ですので、他の人が勝手にパスワードやシステムロックを設定してしまう恐れがあります。
- システムロックを使用しない場合でも、他の人が勝手にパスワードやシステムロックが設定できないように、あらかじめパスワードを設定しておくことをおすすめします。
- パスワードはリモコンで設定します。

「オプション」メニュー画面の「パスワード」を選び、
ENTER
← を押し、以下の手順でパスワードを入力する
メニュー画面の設定については、34ページをご覧ください。

パスワード				
旧パスワード	-	-	-	-
新パスワード	-	-	-	-
確認	-	-	-	-
終了				

1 ▲または▼を押し、パスワード番号を決め▶を押す

2 同様に残りの3個を入力し ENTER
← を押す

3 確認欄にもう一度同じ数字を入力し、
ENTER
← を押す

メモ

- パスワードが設定されている場合は、「システムロック」を変更する前に、パスワード入力が必要です。

パスワードを変更したいときには、以下の手順で変更する

パスワード				
旧パスワード	-	-	-	-
新パスワード	-	-	-	-
確認	-	-	-	-
終了				

1 ▼▲▶を使って、「旧パスワード」の欄に設定済みのパスワードを4桁入力し、ENTER
← を押す

2 新しいパスワードを▼▲▶を使って設定し、ENTER
← を押す

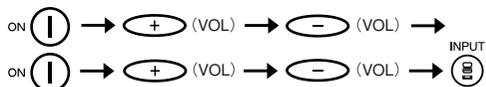
3 確認欄にもう一度同じパスワード4桁を入力し、ENTER
← を押す

メモ

- パスワードを未設定状態にしたいときは、手順2と手順3でパスワードを入力しないで ENTER
← を押してください。
- 設定を途中で止めるときは、UNDO
↶ を押します。

パスワードを忘れてしまったら

もしパスワードを忘れてしまったら、次の方法でパスワードを解除してください。パスワードを解除したあと、あらためてパスワードを設定してください。



を順に押す

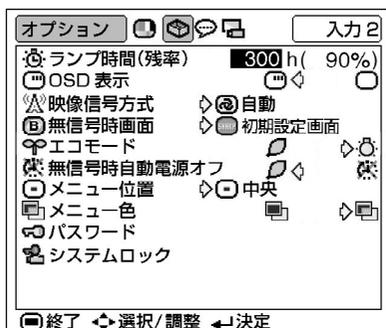
メモ

- ON (1) を3秒以上押すと、キーロック状態になります。(43ページ)
- パスワードを解除するには本体のボタンを使用してください。
- 「システムロック」が設定されている状態では上記の手順でパスワードを解除することはできません。「システムロック」が設定されている状態でパスワードを忘れてしまったときは、お客様自身でのリセットができません。システムロックのリセットは保証期間内であっても有料修理となります。くわしくは修理相談センター(66ページ)にご相談ください。

つづく

「オプション」メニュー画面を使った設定(つづき)

入力2 Sビデオモードの「オプション」メニュー画面例



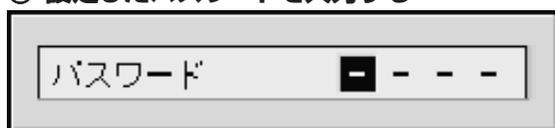
システムロック(本体またはリモコンの操作ボタンでキーコードを入力し、システムロックを設定する)

システムロックを設定したときは、電源を入れた後、システムロックのキーコードを入力しないとプロジェクターに信号を入力しても画像は投映されません。システムロックを解除するには、設定したキーコードを入力します。設定したキーコードは必ずメモしてください。

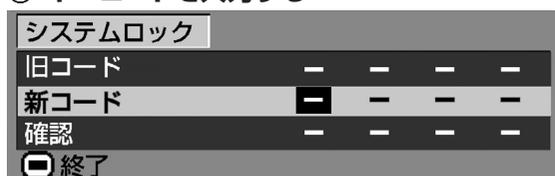
「オプション」メニュー画面の「システムロック」を選び、**ENTER**を押し、以下の手順でキーコードを入力する

メニュー画面の設定については、[34ページ](#)をご覧ください。

① 設定したパスワードを入力する



② キーコードを入力する



メモ

- システムロックは、パスワード([47ページ](#))を設定しないと選択できません。

お知らせ

- キーコード入力画面で正しいキーコードを入力しないと、キーコード入力画面が表示されたままで、それ以降の操作ができません。キーコードを忘れてしまった場合はお客様自身でのリセットができません。システムロックのリセットは保証期間内であっても有料修理となります。くわしくは修理相談センター([66ページ](#))にご相談ください。

キーコードを設定する

1 本体のボタンまたはリモコンのボタンを押し、キーコードを入力する

メモ

次のボタンはキーコードとして設定することができません。

- POWER (電源入/切) ボタン
- ENTER (決定) ボタン
- UNDO (戻す) ボタン
- MENU (メニュー) ボタン
- FORWARD (送り) ボタン
- BACK (戻し) ボタン

2 同様に残りの3個を入力する

3 確認欄にもう一度同じキーコードを入力する

お知らせ

- 設定したキーコードは、必ずメモしてください。お客様自身でのリセットができません。

システムロックを設定したとき

「システムロック」が設定されていると、電源を入れたあとにキーコード入力欄が表示されるので、正しいキーコードを入力してください。

- リモコンのボタンをキーコードとして設定したときはリモコンのボタンを押してください。本体のボタンを設定したときは本体のボタンを押してください。

キーコードを変更する

キーコードを変更したいときには、以下の手順で変更する

システムロック				
旧コード	■	-	-	-
新コード	-	-	-	-
確認	-	-	-	-
<input type="checkbox"/> 終了				

- パスワードが設定してあるときは、「システムロック」を選ぶとパスワード入力欄が表示されます。パスワードを入力してからキーコードを変更してください。

1 リモコンまたは本体のボタンを押して、「旧コード」の欄に設定済みのキーコードを4桁入力する

2 リモコンまたは本体のボタンを押して、新しいキーコードを入力する

3 確認欄にもう一度同じキーコードを4桁入力する

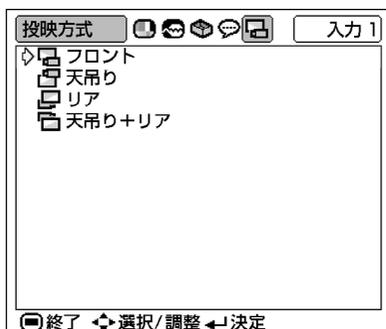
メモ

- キーコードを未設定状態にしたいときは手順**2**と手順**3**でキーコードを入力しないで  を押してください。

映像の左右反転／上下反転のしかた

このプロジェクターは投映する環境に合わせて映像を左右／上下反転する機能を備えていますので、いろいろな対応が可能です。メニュー画面の操作については、「メニューの使いかた」(32～35ページ)をご覧ください。

入力1 RGBモードの「投映方式」メニュー画面例



投映方式を設定する

「投映方式」メニュー画面を選び設定する

メニュー画面の設定については、34ページをご覧ください。

選択項目	内容
フロント	通常映像
天吊り	上下反転された映像
リア	左右反転された映像
天吊り+リア	左右／上下反転された映像

メモ

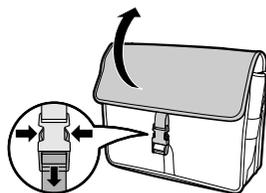
- この機能はプロジェクターをスクリーンの後ろから投映したり、天井に取り付けて投映する場合に設定します。

プロジェクターを持ち運ぶ

キャリングバッグの使いかた

プロジェクターを持ち運ぶときは、レンズキャップを装着して、付属のキャリングバッグに入れてください。

1 カバーを開ける



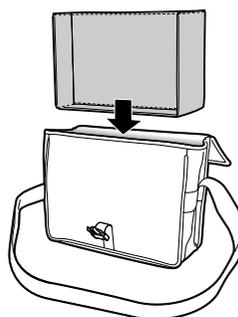
2 キャリングバッグからインナーパッドを取り出し、矢印の方向に折る



3 インナーパッドをキャリングバッグの中に入れる

お知らせ

- レンズや本体を保護するため、インナーパッドは必ず装着してください。

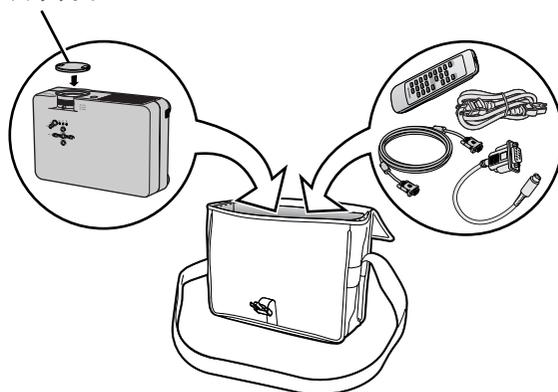


4 本体と付属品をキャリングバッグに収納する

お知らせ

- レンズを保護するため、レンズキャップは必ず装着してください。
- 本体が十分冷えてから収納してください。

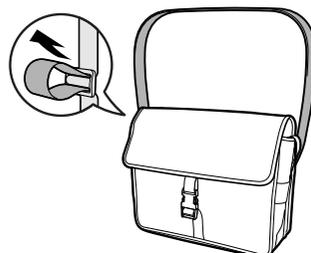
レンズキャップ。



お知らせ

- このキャリングバッグはプロジェクターの収納および持ち運び専用です。
- トラック便などでの運送用として使用しますと、外部の損傷や機器の故障の原因になります。運送用として使用するときは緩衝材を使用し、パッキングケース等に入れた状態で行ってください。
- 直射日光の当たる場所や、閉めきった自動車内、熱器具などの近くに放置しないでください。キャリングバッグやプロジェクターの変形・変色の原因になります。

肩にかけやすいようにベルトを調整できます。



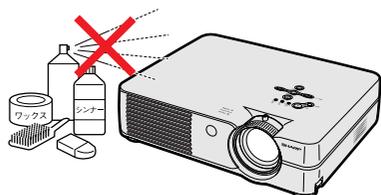
お手入れのしかた

キャビネットの手入れのしかた

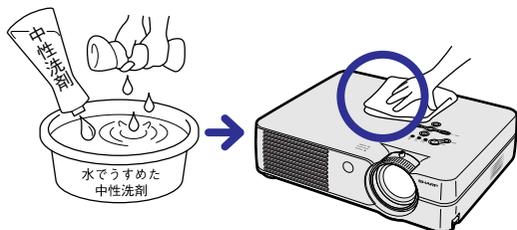
- キャビネットを手入れするときは、必ず電源コードを抜いて行ってください。
- キャビネットや操作パネル部分はプラスチックが多く使われています。ベンジン、シンナーなどでふくと変質したり、塗料がはげることがありますのでご使用にならないでください。
- 殺虫剤など、揮発性のものをかけないでください。

また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させたままにしないでください。

プラスチックのなかに含まれる可塑剤の作用により変質したり、塗料がはげるなどの原因となります。



- 汚れはネルなど柔らかい布で軽くふきとってください。

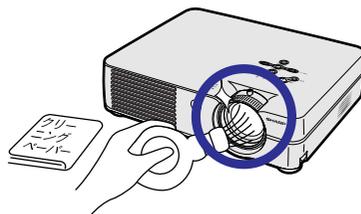


- 汚れがひどいときは水でうすめた中性洗剤にひたした布をよく絞ってふき取り、乾いた布で仕上げてください。

強力な洗剤を使用した場合、変色、変質、塗料がはげる場合があります。目立たない場所で試してから、お手入れすることをおすすめします。

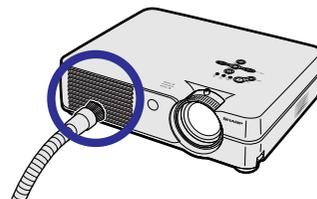
レンズの手入れのしかた

- レンズの清掃は、市販のプロワーやレンズクリーニングペーパー(メガネやカメラなどの清掃に使用)で行ってください。この際、液状のクリーニング剤は使用しないでください。表面のコーティング膜がはがれる原因となります。
- 表面は傷つきやすいのでこすったり、たたいたりしないでください。



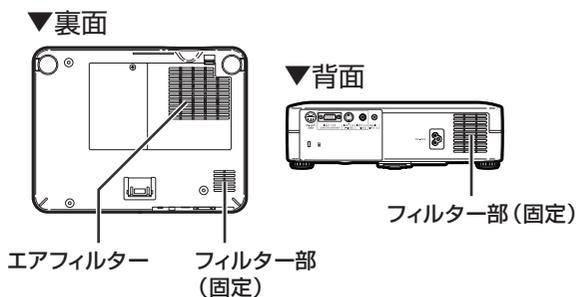
排気孔や吸気孔の手入れのしかた

- 排気孔や吸気孔の清掃は、掃除機でゴミ、ホコリを吸い取ってください。



エアフィルターのお手入れ

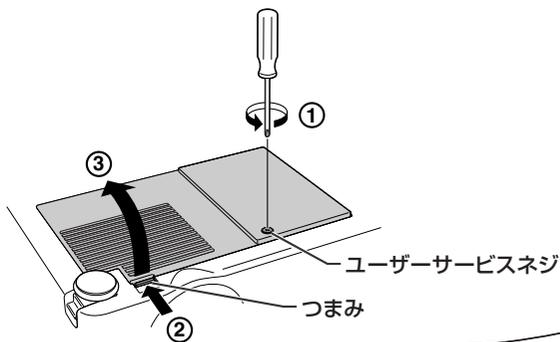
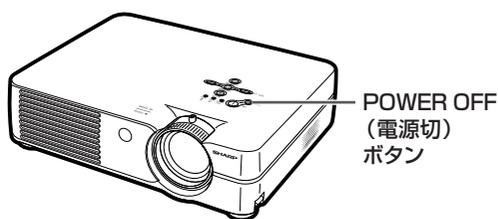
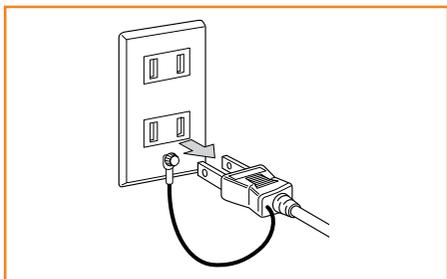
- エアフィルターは、約100時間を目安に掃除を行ってください。特にほこりやタバコの煙などが多いところでは、こまめに掃除を行うようにしてください。
- エアフィルターのほこりが落ちなくなりましたら、フィルターの交換時期です。付属の交換用エアフィルターと交換してください。



底部のエアフィルターの掃除または交換

1 電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く

- 本体のOFF  またはリモコンの  を押し、冷却ファンが停止するまで待ちます。
- アース線の取り外しは、必ず電源プラグを抜いた後、行ってください。

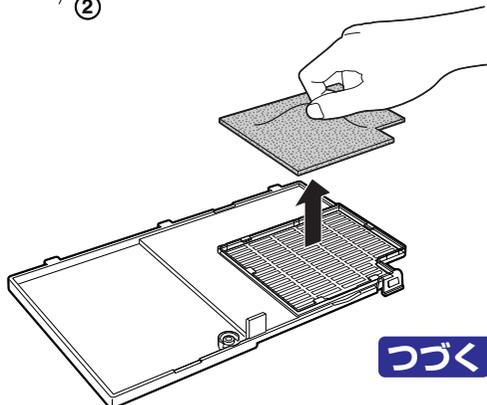


2 底部のフィルター/ランプユニットカバーを外す

- プロジェクターを裏返しにして、フィルター/ランプユニットカバーを固定しているユーザーサービスネジをゆるめます (①)。つまみを押しながら (②)、矢印の方向にフィルター/ランプユニットカバーを取り外します (③)。

3 エアフィルターを取り外す

- エアフィルターをつまんで外します。



つづく

エアフィルターのお手入れ(つづき)

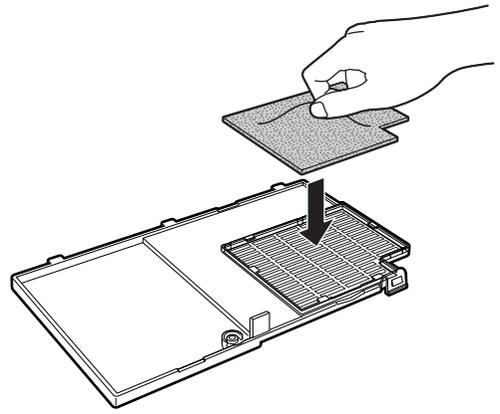
4 エアフィルターを掃除(交換)する

- 掃除機で、フィルターおよびカバーのほこりを吸い取ります。



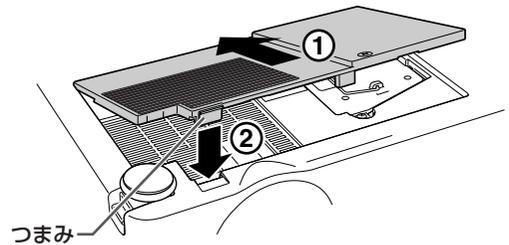
5 エアフィルターを元に戻す(取り付ける)

- エアフィルターを元どおりに取り付けます。



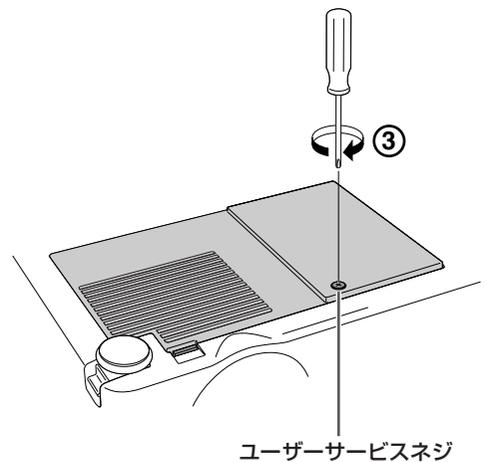
6 フィルター/ランプユニットカバーを取り付ける

- フィルター/ランプユニットカバーのタブを本体に合わせ(①)、つまみを押しながらフィルター/ランプユニットカバーを取り付けます(②)。ユーザーサービスネジを閉め、フィルター/ランプユニットカバーを固定します(③)。



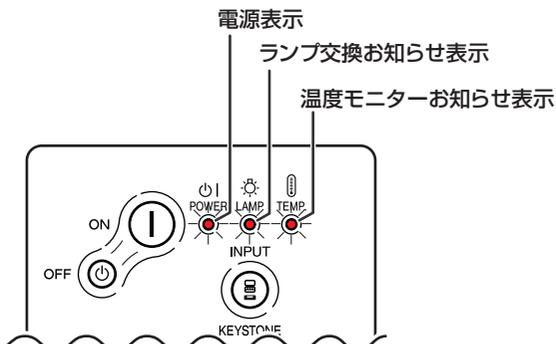
メモ

- フィルター/ランプユニットカバーはしっかり取り付けてください。正しく取り付けられていないと、電源が入りません。(電源表示が赤で点滅します。)
- フィルター部(固定)は、取り外すことができません。ゴミ、ほこりが付着したときは、掃除機で吸い取ってください。
- 交換用エアフィルターをご購入の際は、販売店、またはもよりのお客様相談センター(66ページ)にご相談ください。



お知らせ表示について

- 本機では、内部の異常をお知らせ表示が点灯してお知らせします。
- 内部に異常が生じると、その異常の現象によって、温度モニターお知らせ表示もしくはランプ交換お知らせ表示が赤色に点灯し電源が切れます。以下の処置を行ってください。



温度モニター機能について

設置状況や通風孔の目づまり等により内部温度が高温になると、画面左下に「温度」が点灯します。さらに温度が上昇すると、ランプが消灯し温度モニターお知らせ表示が点滅、90秒のファン冷却後電源が切れます。画面左下に「温度」の表示が出た時点で下の表の内容に従い処置をしてください。



ランプ交換お知らせ機能について



- 「ランプ時間(残率)」は、「エコモード」設定を「」(エコモード)にして約4,500時間使用するか、「」(標準モード)にして約3,000時間使用すると0%になります。くわしくは44、45ページをご覧ください。
- ランプ残率が5%以下になると、「」(黄色)」と「ランプを交換してください。」が画面に表示されます。残り時間が0%になると、「」(赤色)」と「ランプを交換してください。」が画面に表示され、自動的にランプ(光源)が消灯し、電源が切れます。このとき、ランプ交換お知らせ表示が赤色点灯します。
- ランプを交換せずに電源を入れ直すと、4回目からは電源が入らなくなりますのでご注意ください。

	お知らせ表示		現 象	考えられる原因	処置のしかた
	正 常	異 常			
温度モニターお知らせ表示	消 灯	赤色点灯 電源・切	内部温度が高温になっている。	<ul style="list-style-type: none"> ● 通風孔がふさがれている ● 冷却ファンの故障 ● 内部回路の故障 ● 内部通風孔の目づまり 	<ul style="list-style-type: none"> ● 正しい設置場所に設置してください。(7ページ) ● 53ページの手順に従って、エアフィルターのお手入れを行ってください。
ランプ交換お知らせ表示	緑色点灯 (緑色点滅は) 光源起動中	赤色点灯	ランプ交換時期	● ランプ残率が5%以下になった	<ul style="list-style-type: none"> ● ランプを交換してください。(58ページ)
		赤色点灯 電源・切	ランプ(光源)が点灯しない	<ul style="list-style-type: none"> ● ランプ(光源)が切れた ● ランプ(光源)点灯回路故障 	<ul style="list-style-type: none"> ● ランプの交換または修理は販売店、またはもよりのシャープお客様ご相談窓口(66ページ)にお問い合わせください。 ● ランプを交換するときは、注意して行ってください。
電源表示	赤/緑色点灯	赤色点滅	プロジェクターの電源を入れると、電源表示が赤色点滅する	<ul style="list-style-type: none"> ● フィルター/ランプユニットカバーが外れている(確実に取り付けられていない) 	<ul style="list-style-type: none"> ● フィルター/ランプユニットカバーをしっかりと取り付けてください。 ● フィルター/ランプユニットカバーをしっかりと取り付けても電源表示が点滅する場合は、もよりのシャープお客様ご相談窓口(66ページ)にお問い合わせください。

お知らせ表示について(つづき)

お知らせ

- 温度モニターお知らせ表示が点滅し、電源が切れたときは、処置(55ページ)を行った後、再度電源を入れてください。再度電源を入れる場合は、内部温度が十分に下がるまで(5分以上)待ち、電源プラグをいったんコンセントから抜いて電源を入れ直してください。
- 一般の停電などで、電源が切れた直後に電源が入った場合、ランプ交換お知らせ表示が赤色点灯し電源が入らなくなることがあります。このときは、電源プラグをいったんコンセントから抜いて、電源を入れ直してください。
- プロジェクターの動作中に通風孔の掃除を行う場合は、本体のOFF  またはリモコンの  を押して電源を切った後、冷却ファンが止まるのを待ってから行ってください。
- 電源を切った後、冷却ファンが動作している間(約90秒間)は、電源プラグを抜かないでください。

ランプについて

ランプについて

- 光源として使われているランプは消耗品です。「ランプ時間（残率）」のランプ残率が5%以下になったときは、早めに新しいランプ（別売）と交換してください。5%以上のランプ残率でも、使用中にランプが切れることがありますので、映像が暗くなったり、色あいが悪くなってきた場合は早めに新しいランプと交換してください。ランプ残率（パーセント表示）は、画面表示で確認できます。（44ページ参照）
- ランプの保証期間は、6ヵ月1,000時間以内（エコモード：ランプ残率約78% / 標準モード：ランプ残率約67%）です。6ヵ月以内でも1,000時間を超えたり、1,000時間以内でも6ヵ月を過ぎたときは、保証の対象となりませんのでご注意ください。
- ランプ（別売）は、シャープエンジニアリング（株）の製品です。
- ランプの取り替えは、お買いあげの販売店、またはもよりのシャープお客様相談センター（66ページ）にお問い合わせください。

⚠ 警告

- ランプの強い光は視力障害などの原因となります。プロジェクターが動作しているときは、プロジェクターのレンズや強い光が出ているすき間をのぞきこまないでください。



ランプ使用上のご注意

- プロジェクターの光源には、内部圧力の高い水銀ランプが使われています。当ランプは衝撃やキズ、使用時間の経過による劣化などで、大きな音をともなって破裂したり、不点灯状態となって寿命が尽きたりする特性があります。
また、当ランプは、個体差や使用条件によって破裂や不点灯にいたるまでの時間に大きな差があります。
- 「ランプ交換お知らせ表示」が点灯した場合は、ランプが正常に点灯している状態でも、すみやかに新しいランプと交換してください。
- 当ランプが破裂したときは、プロジェクター内部にガラス片が散乱している可能性がありますので、サービスマンまたは販売店にランプの交換と内部の点検を依頼してください。

⚠ 警告

- 当ランプが破裂したとき、ランプハウスにガラスの破片が飛び散ったり、ランプ内部のガスがプロジェクターの排気孔から出たりすることがあります。当ランプ内部のガスには水銀が含まれていますので破裂した場合は十分な換気をしてください。万一吸い込んだり、目に入ったり口に入った場合には、すみやかに医師にご相談ください。



ランプを交換する

⚠ 警告

- ランプ交換ユニットは、操作直後にプロジェクターから取り外さないでください。ランプが高温になっていることがあり、やけどの原因となります。
- ランプ交換ユニットを取り外すときは、電源コードを抜いて少なくとも1時間以上放置し、ランプ交換ユニットの表面が完全に冷めたことを確認してから行ってください。
- 新しいランプ交換ユニットに交換後、ランプが点灯しない場合には、お近くの販売店にご連絡ください。BQC-PGA10X//1に対応したランプ交換ユニットをお近くの販売店でご購入ください。ランプ交換は、ここで説明している操作手順に従い注意して行ってください。なおランプ交換は、お客様のご希望によりお近くの販売店で行うことも可能です。



ランプについて(つづき)

ランプ交換ユニットの取り外しと取り付け

お知らせ

- 取っ手をつかんで、ランプ交換ユニットを取り外してください。ランプ交換ユニットのガラス表面やプロジェクター本体の内部には触れないでください。
- けがやランプの破損を防ぐため、手順にそって作業を行ってください。
- フィルター/ランプユニットカバーとランプ交換ユニット以外のネジは絶対に外さないでください。
- ランプ交換ユニットに付属されているランプ交換説明書も合わせてご覧ください。

1 本体のOFF (電源切) を押しプロジェクターの電源を切る

- 冷却ファンが止まるまで待ちます。

警告

- ランプ交換ユニットは、操作直後にプロジェクターから取り外さないでください。ランプが高温になっていることがあり、やけどの原因となります。

2 電源コードをプロジェクターから取り外す

- 電源コードをAC電源ソケットから外します。
- ランプ交換ユニットが十分冷えるまで(約1時間)放置します。

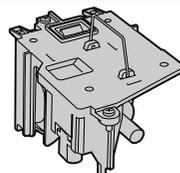
3 エアフィルターを交換する

- ランプ交換ユニットを取り付ける際には、エアフィルターを交換してください。(53ページ)

4 フィルター/ランプユニットカバーを取り外す

- プロジェクターを裏返しにして、フィルター/ランプユニットカバーを固定しているユーザーサービスネジをゆるめめす(①)。つまみを押しながら(②)、矢印の方向にフィルター/ランプユニットカバーを取り外します(③)。

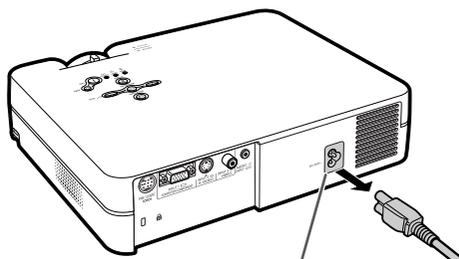
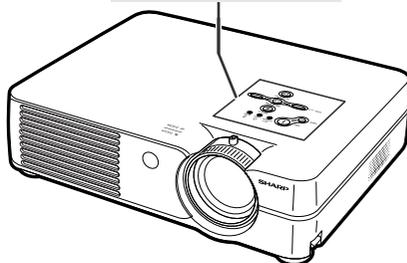
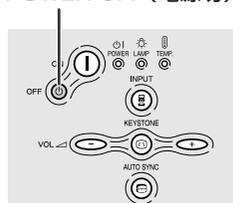
ランプ交換
ユニット



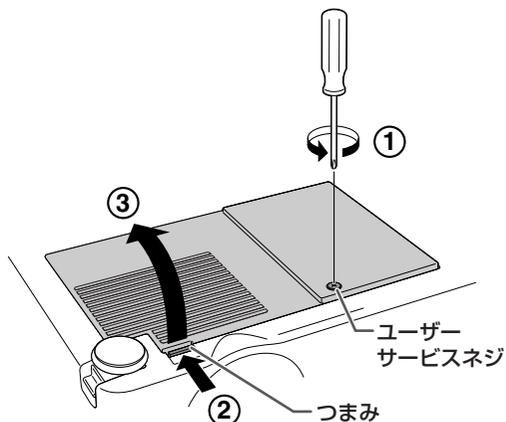
部品コード
BQC - PGA10X//1

流通コード
006 626 0312

POWER OFF (電源切) ボタン



AC電源ソケット



5 ランプ交換ユニットを取り外す

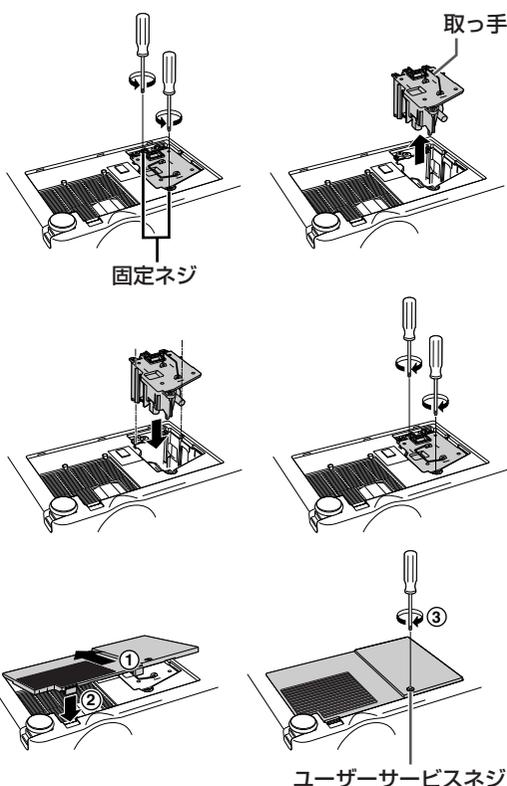
- 固定ネジをランプ交換ユニットから取り外します。取っ手をつかみ、ランプ交換ユニットを水平に保ちながら傾けないようにして矢印の方向に引き出します。

6 新しいランプ交換ユニットを挿入する

- ランプ交換ユニットをしっかりとランプ交換ユニット収納部に押し込みます。固定ネジをしめます。

7 フィルター/ランプユニットカバーを取り付ける

- フィルター/ランプユニットカバーのタブを本体に合わせ(①)、つまみを押しながらフィルター/ランプユニットカバーを取り付けます(②)。ユーザーサービスネジを閉め、フィルター/ランプユニットカバーを固定します(③)。



お知らせ

- 電源コードが接続されていてもランプ交換ユニットとフィルター/ランプユニットカバーが正しく取り付けられていないと、電源が入りません。

ランプ使用時間をリセットする

ランプ交換を行ったときは、ランプ使用時間をリセットしてください。

1 電源コードをプロジェクターに接続する

- 電源コードをプロジェクターのAC電源ソケットに接続します。

2 ランプ使用時間をリセットする

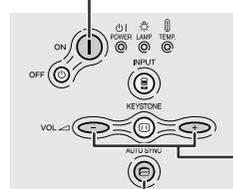
- プロジェクター本体の \oplus と \ominus を2つ同時に押しながら、ON (①) (電源入) と \ominus を押します。
- ランプ使用時間がリセットされ、「LAMP 0000H」が表示されます。

お知らせ

- ランプ使用時間のリセットは、ランプ交換時以外には行わないでください。ランプ使用時間をリセットして、規定以上ランプを使用すると破裂や故障の原因になります。

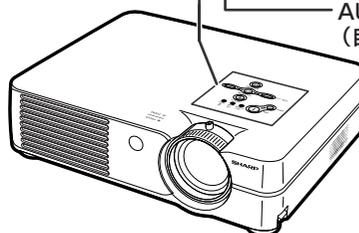


POWER ON(電源入)ボタン



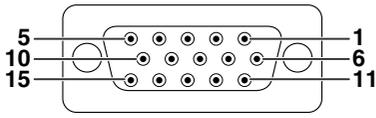
VOLUME(音量)ボタン
- +

AUTO SYNC
(自動同期調整)ボタン



本体のコネクターのピン配置

入力1 RGB信号端子：15ピンミニD-subコネクタ（メス）



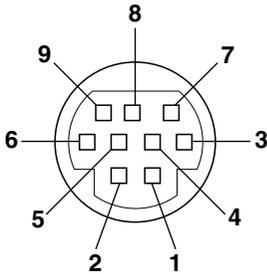
RGB入力

1. 映像入力（赤）
2. 映像入力（緑／シンクオングリーン）
3. 映像入力（青）
4. NC
5. NC
6. 接地（赤）
7. 接地（緑／シンクオングリーン）
8. 接地（青）
9. NC
10. 接地
11. NC
12. データ
13. 水平同期信号
14. 垂直同期信号
15. クロック

コンポーネント（色差）入力

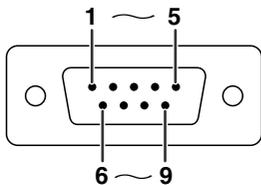
1. P_R (C_R)
2. Y
3. P_B (C_B)
4. NC
5. NC
6. 接地 (P_R)
7. 接地 (Y)
8. 接地 (P_B)
9. NC
10. NC
11. NC
12. NC
13. NC
14. NC
15. NC

RS-232C端子：9ピンミニDINコネクタ（メス）



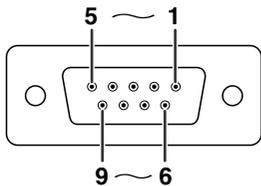
ピン番号	信号	信号名	I/O	参考
1				NC
2	RD	受信データ	入力	内部回路に接続
3	SD	送信データ	出力	内部回路に接続
4				NC
5	SG	接地		内部回路に接続
6				NC
7				NC
8				NC
9				NC

DIN-D-sub RS-232Cアダプターの9ピンD-subコネクタ（オス）



ピン番号	信号	信号名	I/O	参考
1				NC
2	RD	受信データ	入力	内部回路に接続
3	SD	送信データ	出力	内部回路に接続
4				NC
5	SG	接地		内部回路に接続
6				NC
7				NC
8				NC
9				NC

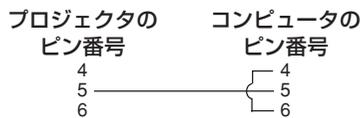
RS-232Cケーブルの推奨接続：9ピンD-subコネクタ（メス）



ピン番号	信号	ピン番号	信号
1	CD	1	CD
2	RD	2	RD
3	SD	3	SD
4	ER	4	ER
5	SG	5	SG
6	DR	6	DR
7	RS	7	RS
8	CS	8	CS
9	CI	9	CI



- 使用するコントロール機器（コンピュータなど）によってはピン4とピン6を接続する必要があります。



RS-232C仕様とコマンドの設定

コンピュータによるプロジェクターの制御

コンピュータをRS-232Cシリアル制御ケーブル(クロスタイプ、別売品)でプロジェクターに接続すると、コンピュータでプロジェクターを操作できます。(接続については19ページをご覧ください。)

通信条件

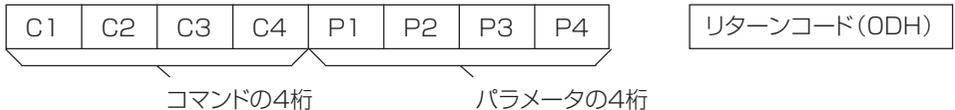
コンピュータのシリアルポートを、次のように設定します。

信号形式 : RS-232C標準に準拠
 ボーレート : 9,600 bps
 データ長 : 8ビット
 パリティビット: なし
 ストップビット: 1ビット
 フロー制御 : なし

基本形式

コンピュータからのコマンドは、コマンド、パラメータ、リターンコードの順に送ってください。プロジェクターがコンピュータからのコマンドを処理すると、コンピュータにレスポンスコードを送ります。

コマンド形式



レスポンスコード形式

通常のレスポンス



問題のあるレスポンス(通信エラーや不正なコマンド)



お知らせ

- 複数のコードを送信する場合には、前のコマンドのレスポンスコードがプロジェクターから送られたあとで、次のコマンドを送信してください。

コマンド

例: プロジェクターの電源を入れる場合

コンピュータ



プロジェクター



制御する内容	コマンド	パラメータ	リターン
電源オフ(待機状態)	P O W R	_ _ _	0 OKまたはERR
電源オン	P O W R	_ _ _	1 OKまたはERR
入力1	I R G B	_ _ _	1 OKまたはERR
入力2	I V E D	_ _ _	1 OKまたはERR
入力3	I V E D	_ _ _	2 OKまたはERR
ランプ使用時間(時間)	T L T T	_ _ _	1 0-9999
ランプ残率(パーセンテージ)	T L T L	_ _ _	1 0-100
ランプの状態	T L P S	_ _ _	1 0:オフ、1:オン、2:再試行、3:待機中、4:ランプのエラー
プロジェクターの状態	T A B N	_ _ _	1 0:正常、1:高温、2:冷却ファンのエラー、 4:フィルター/ランプユニットカバーの取り付けエラー、 8:ランプ残率5%以下、16:ランプ切れ 32:ランプ不点灯、64:異常高温
モデル名の確認	T N A M	_ _ _	1 モデル名
AV ミュートオフ	I M B K	_ _ _	0 OK or ERR
AV ミュートオン	I M B K	_ _ _	1 OK or ERR
自動同期調整	A D J S	_ _ _	1 OK or ERR



メモ

- パラメータの列でアンダーバー(_)のところには、スペースを入力します。

RGB入力信号(推奨信号)について

コンピュータ

- 幅広い信号に対応
水平周波数：15kHz～70kHz
垂直周波数：43Hz～85Hz
ドットクロック：12MHz～108MHz
- シンクオングリーン信号に対応。
- [PG-A10X] 圧縮表示により、SXGA+、SXGAに対応。
[PG-A10S] 圧縮表示により、SXGA+、SXGA、XGAに対応。
- 圧縮表示／拡大表示技術採用。

下表はVESA準拠モード一覧です。ただし本機はVESA規格以外の信号にも対応しています。

PC/MAC/WS	解像度		水平周波数(kHz)	垂直周波数(Hz)	VESA規格	ディスプレイ	
						PG-A10X	PG-A10S
PC	VGA	640 × 350	27.0	60		拡大表示	拡大表示
			31.5	70			
			37.5	85	✓		
		640 × 400	27.0	60			
			31.5	70			
			37.9	85	✓		
		720 × 350	27.0	60			
			31.5	70			
			27.0	60			
		720 × 400	31.5	70			
			37.9	85	✓		
			26.2	50			
	640 × 480	31.5	60	✓			
		34.7	70				
		37.9	72	✓			
		37.5	75	✓			
		43.3	85	✓			
		31.4	50				
	SVGA	800 × 600	35.1	56	✓	拡大表示	リアル表示
			37.9	60	✓		
			46.6	70			
			48.1	72	✓		
			46.9	75	✓		
			53.7	85	✓		
XGA	1,024 × 768	35.5	43		リアル表示	圧縮表示	
		40.3	50				
		48.4	60	✓			
		56.5	70	✓			
		60.0	75	✓			
		68.7	85	✓			
SXGA	1,152 × 864	55.0	60		圧縮表示	リアル表示	
		66.2	70				
		67.5	75	✓			
		64.0	60				
SXGA+	1,400 × 1,050	64.0	60	✓			
		64.0	60				
MAC 13"	VGA	640 × 480	34.9	67		拡大表示	拡大表示
MAC 16"	SVGA	832 × 624	49.7	75		拡大表示	
MAC 19"	XGA	1,024 × 768	60.2	75		リアル表示	圧縮表示
MAC 21"	SXGA	1,152 × 870	68.7	75		圧縮表示	

メモ

- 本機は、同時(CRT/LCD)モードでノート型コンピュータからの映像を表示できない場合があります。この場合は、ノート型コンピュータ側で液晶表示をオフにして"CRTのみ"モードで表示データを出力してください。表示モードを変更するための詳細はお持ちのノート型コンピュータの操作マニュアルに記載されています。
- 本機は640×350 VESA形式のVGA信号を入力した場合、スクリーン上では"640×400"と表示されます。
- インターレース映像信号の動画を本機で投映するとき、RGB入力を使用すると、映像信号によってはお客様が意図した映像にならない場合があります。そのような場合は、コンポーネント入力、S映像入力、ビデオ入力をご使用ください。

DTV

入力信号	水平周波数 (kHz)	垂直周波数 (Hz)
525I	15.7	60
525P	31.5	60
540P	33.8	60
580I	15.6	50
580P	31.3	50
750P	45.0	60
1125I	28.1	50
1125I	33.8	60
1035I	28.1	50
1035I	33.8	60

故障かな?と思ったら

こんなとき	ここをお調べください	ページ
 映像も音声も出ない、 またはプロジェクター が始動しない	●電源プラグがコンセントから抜けていませんか。	14
	●接続した外部機器の電源が「切」の状態になっていませんか。	-
	●表示させる画面の選択(入力モード)がまちがっていませんか。	26
	●AVミュートの機能が働いていませんか。	27
	●プロジェクター後面の配線は、正しく接続されていますか。	15~19
	●リモコンの乾電池が消耗していませんか。	12
	●ノート型コンピュータを接続しているとき、外部出力状態に設定されていますか。	15
 音声は出るが映像が出ない	●プロジェクター後面の配線は、正しく接続されていますか。	15~19
	●映像調整の「明るさ」が「-(マイナス)」側いっぱいになっていませんか。	36
 色がうすい、色あいが悪い	●映像調整は、正しく調整されていますか。	36
	<ビデオ入力するとき> ●ビデオの映像信号方式は正しく設定されていますか。	45
	<入力1するとき> ●入力信号タイプのRGB/色差が正しく設定されていますか。	37
 映像がボヤける ノイズが発生する	●レンズのフォーカス(ピント)は合っていますか。	21
	●投映距離が、フォーカスの合う範囲を超えていませんか。	23
	<コンピュータ入力するとき> ●同期調整(クロック調整)を行ってください。	38
	●同期調整(位相調整)を行ってください。 ●コンピュータによってはノイズが発生することがあります。	38 (62)
 映像は出るが音が出ない	●プロジェクター後面の配線は、正しく接続されていますか。	15~19
	●音量が最小になっていませんか。	26
キャビネットから時々 「ピシッ」と音がする	●画面に異常がない場合、室温の変化によりキャビネットが、わずかに伸縮する音です。性能その他に影響はありません。	-
お知らせ表示が点灯する	●「お知らせ表示について」をご覧ください。	55
本体ボタンで 電源を入/切できない	●キーロックが設定されていませんか。 「ON」に設定されている場合、すべてのボタンが動きません。	43

故障かな?と思ったら(つづき)

こんなとき	ここをお調べください	ページ
入力1の コンポーネントモードで 画面が緑がかる	●入力信号タイプが正しく設定されていますか。	37
入力1の RGBモードで 画面がピンクがかる		
映像が暗い	●ランプ交換お知らせ表示が赤色点灯していませんか。 赤色点灯しているときは、ランプを交換してください。	55、57
映像が明るすぎて 白っぽくなる	●映像調整は、正しく調整されていますか。	36

アフターサービスについて

保証書（別添）

- 保証書は「お買いあげ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受け取ってください。保証書は内容をよくお読みの後、大切に保存してください。
- 保証期間
 - 光源(ランプ)以外の部品代および修理工料は、お買いあげの日から1年間は無料です。
 - 光源(ランプ)およびその修理工料は、お買いあげの日から6ヵ月は無料です。
(6ヵ月以内でも使用時間が1,000時間を超えているときは、保証の対象となりません。)

ご不明な点や修理に関するご相談は

- 修理に関するご相談ならびにご不明な点は、お買いあげの販売店、またはもよりのシャープお客様ご相談窓口(66ページ)にお問い合わせください。

補修用性能部品の保有期間

- 当社は、プロジェクターの補修用性能部品を製造打切後、8年保有しています。
- 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理を依頼されるときは 出張修理

- 「故障かな?と思ったら」(63ページ)を調べてください。それでも異常があるときは、使用をやめて、必ず電源プラグを抜いてから、お買いあげの販売店にご連絡ください。

ご連絡していただきたい内容

品名：液晶プロジェクター
形名：PG-A10X / PG-A10S
お買いあげ日：(年月日)
故障の状況：(できるだけ具体的に)
ご住所：(付近の目印も合わせてお知らせください。)
お名前：
電話番号：
ご訪問希望日：

保証期間中

修理に際しましては保証書をご提示ください。保証書の規定に従って販売店が修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。

修理料金のしくみ

修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

便利メモ お客様へ…
お買いあげ日・販売店名を記入されると便利です。

お買いあげ日	販売店名
年 月 日	電話 () —

技術料	故障した製品を正常に修復するための料金です。
部品代	修理に使用した部品代金です。
出張料	製品のある場所へ技術者を派遣する場合の料金です。

お願い

ランプは消耗品です。使用中にランプが切れることがありますので、あらかじめご承知ください。映像が暗くなったり、色合いが悪くなるなどの症状がでたときは、早めにランプを交換してください。

愛情点検



長年ご使用のプロジェクターの点検を!

こんな症状はありませんか?

- 電源コードやプラグが異常に熱い。
- 電源を入れても映像や音が出ない、また出るまでに時間がかかる。
- 画面が映ったり、消えたりする。
- 映像が乱れたり、色がきれいに出不い。
- その他の異常や故障がある。

このような症状のときは本体の電源を切り、プラグをコンセントから抜き、使用を中止し、故障や事故の防止のため必ず販売店に点検をご依頼ください。なお、点検・修理に要する費用は販売店にご相談ください。

お客様ご相談窓口のご案内

修理・お取扱い・お手入れについてのご相談ならびにご依頼は、お買いあげの販売店へご連絡ください。

転居や贈答品などで、保証書記載の販売店にご相談できない場合は、下記窓口にご相談ください。

- 製品の故障や部品のご購入に関するご相談は **修理相談センター** へ
- 製品のお取扱い方法、その他ご不明な点は **お客様相談センター** へ

修理相談センター

● 修理相談センター（沖縄・奄美地区を除く）

■受付時間 *月曜～土曜：午前9時～午後6時 *日曜・祝日：午前10時～午後5時（年末年始を除く）



0570-02-4649

当ダイヤルは、全国どこからでも一律料金でご利用いただけます。
呼出音の前に、NTTより通話料金の目安をお知らせ致します。

(注) 携帯電話・PHSからは、下記電話におかけください。

		<東日本地区>	<西日本地区>
○ 携帯電話/PHSでのご利用は	一般電話	043-299-3863	06-6792-5511
○ FAXを送信される場合は	F A X	043-299-3865	06-6792-3221

○ 沖縄・奄美地区については、下表の「那覇サービスセンター」にご連絡ください。

- ◎ **持込修理および部品購入のご相談** は、上記「修理相談センター」のほか、下記地区別窓口にも承っております。

■受付時間 *月曜～土曜：午前9時～午後5時30分（祝日など弊社休日を除く）

〔但し、沖縄・奄美地区〕は.....*月曜～金曜：午前9時～午後5時30分（祝日など弊社休日を除く）

担当地域	拠 点 名	電 話 番 号	郵便番号	所 在 地
北海道地区	札幌サービスセンター	011-641-4685	〒063-0801	札幌市西区二十四軒1条7-3-17
東北地区	仙台サービスセンター	022-288-9142	〒984-0002	仙台市若林区卸町東3-1-27
関東地区	さいたまサービスセンター	048-666-7987	〒330-0038	さいたま市宮原町2-107-2
	宇都宮サービスセンター	028-637-1179	〒320-0833	宇都宮市不動前4-2-41
	東京テクニカルセンター	03-5692-7765	〒114-0013	東京都北区東田端2-13-17
	多摩サービスセンター	042-586-6059	〒191-0003	日野市日野台5-5-4
	千葉サービスセンター	047-368-4766	〒270-2231	松戸市緑台295-1
東海地区	横浜サービスセンター	045-753-4647	〒235-0036	横浜市磯子区中原1-2-23
	静岡サービスセンター	0543-44-5781	〒424-0067	清水市鳥坂1170
北陸地区	名古屋サービスセンター	052-332-2623	〒454-8721	名古屋市中川区山王3-5-5
	金沢サービスセンター	076-249-2434	〒921-8801	石川郡野々市町御経塚町4-103
近畿地区	京都サービスセンター	075-672-2378	〒601-8102	京都市南区上鳥羽菅田町48
	大阪テクニカルセンター	06-6794-5611	〒547-8510	大阪市平野区加美南3-7-19
	神戸サービスセンター	078-453-4651	〒658-0082	神戸市東灘区魚崎北町1-6-18
中国地区	広島サービスセンター	082-874-8149	〒731-0113	広島市安佐南区西原2-13-4
四国地区	高松サービスセンター	087-823-4901	〒760-0065	高松市朝日町6-2-8
九州地区	福岡サービスセンター	092-572-4652	〒816-0081	福岡市博多区井相田2-12-1
沖縄・奄美地区	那覇サービスセンター	098-861-0866	〒900-0002	那覇市曙2-10-1

お客様相談センター

■受付時間 *月曜～土曜：午前9時～午後6時 *日曜・祝日：午前10時～午後5時（年末年始を除く）

東日本相談室	TEL 043 - 297 - 4649	FAX 043 - 299 - 8280	〒261-8520 千葉県千葉市美浜区中瀬1-9-2
西日本相談室	TEL 06 - 6621 - 4649	FAX 06 - 6792 - 5993	〒581-8585 大阪府八尾市北亀井町3-1-72

●所在地・電話番号などについては変更になることがありますので、その節はご容赦願います。（03.02）

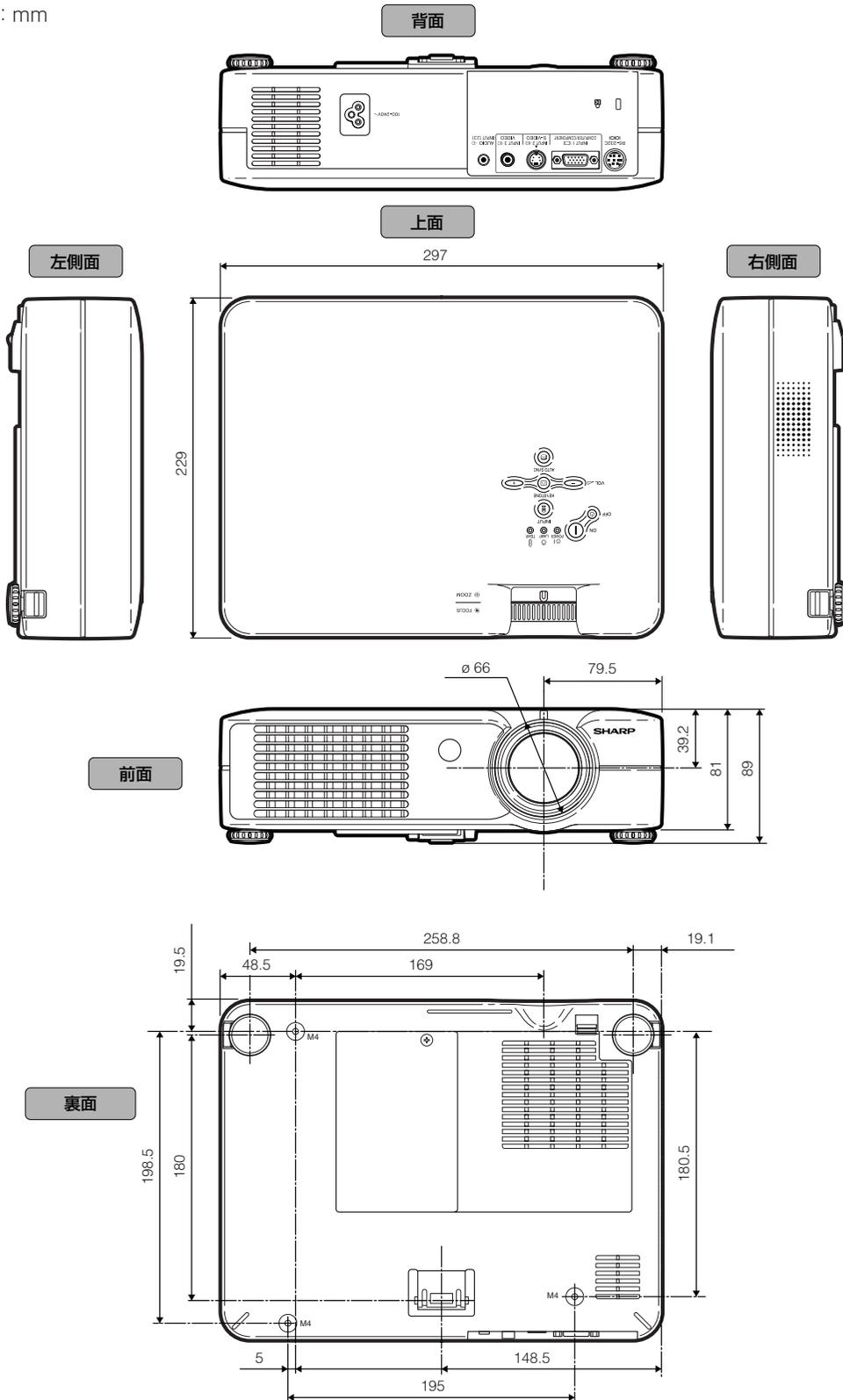
品名	液晶プロジェクター	
形名	PG-A10X / PG-A10S	
表示方式	液晶パネル×3、RGB光学シャッター方式	
液晶パネル	パネルサイズ	0.79型(縦12.0mm×横16.0mm)
	画素数	[PG-A10X] 786,432(横1,024×縦768)ドット [PG-A10S] 480,000(横800×縦600)ドット
標準レンズ	1~1.2倍手動ズームレンズ F1.9~2.2 f 26.0mm~31.0mm	
ランプ	165W	
音声出力	1.0W(モノラル)	
スピーカー	丸型2.8cm×1	
定格電圧	AC100V~240V	
定格周波数	50/60Hz	
入力電流	2.4A	
消費電力	AC100V時: 240W(標準モード時)/190W(エコモード時) AC240V時: 226W(標準モード時)/182W(エコモード時)	
消費電力(電源スタンバイ時)	5W(AC100V)~8W(AC240V)	
使用温度範囲	5℃~35℃	
保管温度範囲	-20℃~+60℃	
入力端子	コンピュータRGB/ コンポーネント入力 端子(INPUT1)	RGB分離型アナログ信号/ コンポーネント信号 : 15ピンミニD-sub端子 (INPUT1) : Y1.0Vp-p (75Ω) : Pb0.7Vp-p (75Ω) : Pr0.7Vp-p (75Ω)
	音声入力端子 (INPUT1/2/3)	音声: 0.5Vrms、47kΩ以上 : φ3.5ミニジャック端子 (INPUT1/2/3)
	S映像入力端子 (INPUT2)	輝度信号入力: 1.0Vp-p、75Ω、同期負: 4ピンミニDINコネクタ 色信号入力: 0.286Vp-p(バースト信号)、75Ω
	ビデオ入力端子 (INPUT3)	映像: 1.0Vp-p、75Ω、同期負 : RCAピン端子
キャビネット	プラスチック	
外形寸法	幅297mm、奥行229mm、高さ81mm(突起部除く)	
質量	2.9kg	

お願い

- 液晶パネルは非常に精密度の高い技術で作られており、99.99%以上の有効画素がありますが、0.01%以下の画素欠けや常時点灯するものがありますので、あらかじめご了承ください。
- ランプは消耗品です。使用中にランプが切れることがありますので、あらかじめご了承ください。映像が暗くなったり、色合いが悪くなるなどの症状がでたときは、早めにランプを交換してください。

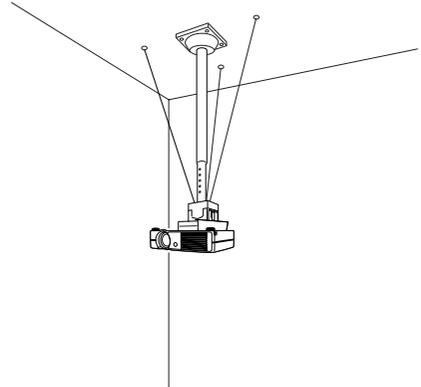
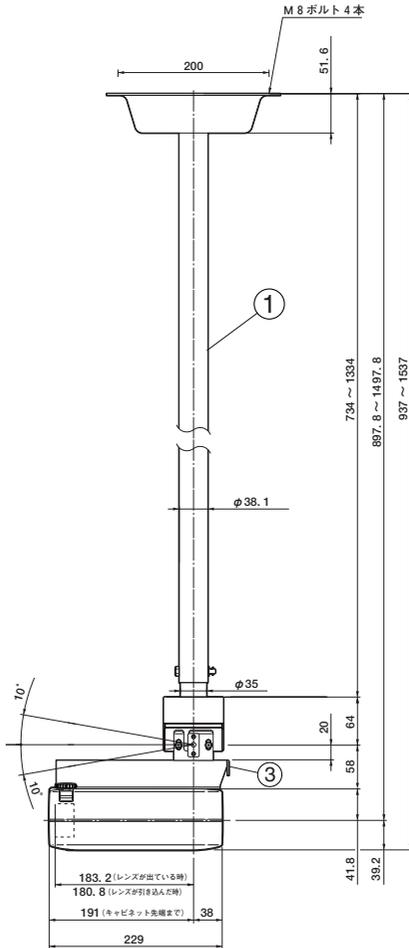
寸法図

単位：mm

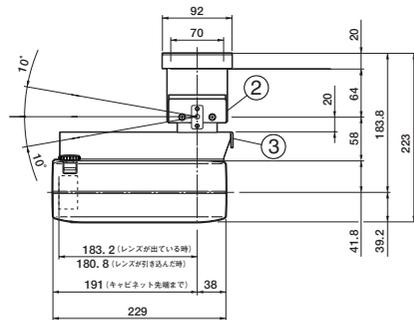


天吊り

	品名	型名
①	高天井用取り付けユニット	AN-TK201
②	低天井用取り付けユニット	AN-TK202
③	取り付けアダプター	AN-A10T



AN-TK201をご使用の際は、上図のようにワイヤー等でゆれ防止されることをおすすめします。



sRGB

IEC(International Electrotechnical Commission)が規定した色再現性の国際規格です。一定の色の表現領域を定めたもので、「sRGB」モードを「ON」に設定すると、液晶の特性を考慮した色変換を行い、原画像に基いた自然な色合いで表示します。

圧縮表示／拡大表示(62ページ)

解像度が低い、または高い映像を投映する場合、プロジェクターの解像度に合わせて映像の画像サイズを調整します。

色温度

プロジェクターに入力された映像のタイプに合わせて、色温度を調節する機能です。自然な肌色を表現したいときは、色温度を下げて、温かさ、赤っぽさを強調し、より明るい画像にしたいときは、色温度を上げて、冷たさ、青っぽさを強調します。

画像表示モード

入力された映像の画質をよくするために、画像表示モードを切り換えることができます。「標準」、「ドットバイドット」、「ボーダー」、「スクイーズ」、「ズーム」から選択できます。

ガンマ補正

映像の違いや、部屋の明るさの違いにより映像が見にくい場合に、映像を見やすくする機能です。「標準」、「プレゼンテーション」、「シネマ」、「ゲーム」から選択できます。

キーストーン補正

プロジェクターの映像を投映したとき、台形に歪んだ映像をデジタル修正するための機能です。

キーロック

いたずら防止のため、プロジェクター本体のボタン(キー)操作をロックできます。

クロック調整

コンピュータ入力時、映像の縦方向に出る帯状のノイズを低減するための調整です。

システムロック

プロジェクターに設定された「キーコード」を入力しないと、信号を入力しても画像を投映できなくなる機能です。

自動同期調整

コンピュータの画像を最良な状態で投映する機能です。

水平位相

同じ解像度を保ったまま、走査のタイミングを調整します。水平位相が最適でないとき、横方向のノイズをともなって、映像がチカチカします。

スクイーズ

16：9のワイド画像を4：3(縦長サイズ)に圧縮したスクイーズ映像を投映するとき、映像を均一に左右に引き伸ばして、16：9スクリーンいっばいに投映するモードです。

縦横比

映像の横・縦の比率です。コンピュータやビデオにおける通常の縦横比は4:3です。縦横比が16:9/21:9という横幅の広いワイド映像もあります。アスペクト比と呼ばれる場合もあります。

ドットバイドット

映像を元の解像度で投映するモードです。

パスワード

システムロック機能を有効にするための4桁の数字です。

標準

コンピュータ入力信号の場合

- 投映比率を維持したまま、4：3スクリーンの内側いっばいに画像全体を投映します。

ビデオ入力信号の場合

- 4：3画像を16：9スクリーンの内側いっばいに投映します。(画面の両端がマスクされません。)

ボーダー

パネルの上下左右をカットした4：3部分にアスペクト比を保ったまま画像を投映するモードです。

無信号時画面

信号が入力されていないときに投映される初期設定映像です。

記号英数

AC電源ソケット	14
AUDIO INPUT (音声入力) 端子	15
AUTO SYNC (自動同期調整) ボタン	38
AV MUTE (AVミュート) ボタン	27
BACK (戻し) ボタン	11
DIN-D-sub RS-232Cアダプター	19
ENLARGE (拡大/縮小) ボタン	42
ENTER (決定) ボタン	33、35
FORWARD (送り) ボタン	11
FREEZE (静止画) ボタン	42
INPUT (入力) 1端子	15
INPUT (入力) 2端子	17
INPUT (入力) 3端子	17
INPUT (入力) 切り替え ボタン	26
KEYSTONE (キーストーン補正) ボタン	29
MENU (メニュー) ボタン	32
OSD表示	44
POWER (電源入/切) ボタン	25
RESIZE (画像サイズ切り替え) ボタン	40
RGBケーブル	15
RS-232C端子	19
sRGB	37
UNDO (戻す) ボタン	29、33
VOLUME (音量) ボタン	26

ア行

青	36
赤	36
明るさ	36
アジャスター	20
アジャスターリリースボタン	20
色あい	36
色温度	36
色の濃さ	36
エアフィルター	53
映像信号方式	45
映像調整	36
エコモード	45
オプション	44
温度モニターお知らせ表示	55
温度モニター機能	8

カ行

カーソルボタン	32
画質	36
乾電池	12
ガンマ	37
キーコード	48
キーストーン補正	29
キーロック	43
キャリングバッグ	51
吸気孔	7、10、52
クロック	38
言語選択 (画面表示言語)	28
コントラスト	36
コンピュータ画面の調整	38

サ行

システムロック	48
自動同期調整 (AUTO SYNC)	38
ズーム (表示イメージ)	41
ズームレバー	21
垂直位置	38
水平位相	38
水平位置	38
スクイーズ (表示イメージ)	40、41

タ行

電源コード	14
電源表示	25、55
天井取り付け	24、69
投映方式 (映像左右反転/上下反転機能)	50
同期調整	38
盗難防止用コネクター	10
特殊モード	38
ドットバイドット (表示イメージ)	40

ナ行

入力1~3モード	26
入力信号確認	39
入力信号タイプ	37

ハ行

排気孔	7、9、52
パスワード	47
標準 (表示イメージ)	40、41
フォーカスリング	21
付属品	13
別売品	13
ポーター (表示イメージ)	40

マ行

無信号時画面	45
無信号時自動電源オフ	46
メニュー位置	46
メニュー色	46
メモリー	37

ラ行

ランプ	8、57
ランプ交換	8、57
ランプ交換お知らせ表示	55
ランプ時間 (残率)	44
リモコン	11、12
リモコン受信部	12
レンズキャップ	9
レンズ調整	21

● 製品についてのお問い合わせは…

お客様相談センター

東日本相談室 TEL **043-297-4649** FAX **043-299-8280**

西日本相談室 TEL **06-6621-4649** FAX **06-6792-5993**

〈受付時間〉 月曜～土曜：午前9時～午後6時 日曜・祝日：午前10時～午後5時（年末年始を除く）

● 修理のご相談は…

[66ページ](#)記載の『お客様ご相談窓口のご案内』をご参照ください。

● シャープホームページ

<http://www.sharp.co.jp/>

シャープ株式会社

本社
AVシステム事業本部

〒545-8522
〒329-2193

大阪市阿倍野区長池町22番22号
栃木県矢板市早川町174番地